

守口市工業実態調査 報告書

平成24年2月

守口市

目次

| | |
|---------------------------------|-----------|
| 1. アンケート調査の概要 | 1 |
| 1) アンケートの目的 | 1 |
| 2) アンケートの種類と方法 | 1 |
| (1) 工場事業者アンケートの実施方法 | 1 |
| (2) 住民アンケートの実施方法 | 1 |
| 3) アンケート結果の概要 | 2 |
| (1) 工場事業者アンケート結果の概要 | 2 |
| (2) 住民アンケート結果の概要 | 2 |
| 4) グラフ内数値の注意点 | 3 |
| 2. 工場事業者アンケート調査の結果 | 4 |
| 1) 市全体についての調査結果 | 4 |
| (1) 工場規模と業種について | 4 |
| (2) 工場の土地と建物について | 6 |
| (3) 周辺住民との関わりについて | 9 |
| (4) 工場の現状と展望について | 15 |
| (5) 自由意見 | 25 |
| 2) 地域別についての調査結果 | 26 |
| (1) 地域割りについて | 26 |
| (2) 工場規模について | 27 |
| (3) 工場の土地と建物について | 27 |
| (4) 周辺住民との関わりについて | 29 |
| (5) 工場の現状と展望について | 31 |
| 3) クロス集計結果 | 36 |
| (1) クロス集計について | 36 |
| (2) 移転希望事業所について | 36 |
| 3. 住民アンケート調査の結果 | 38 |
| 1) 市全体についての調査結果 | 38 |
| (1) 回答者の属性について | 38 |
| (2) 周辺の住環境について | 43 |
| (3) 周辺の工場について | 49 |
| (4) 自由意見 | 53 |
| 2) 地域別についての調査結果 | 54 |
| (1) 地域割りについて | 54 |
| (2) 回答者の属性について | 55 |
| (3) 周辺の住環境について | 57 |
| (4) 周辺の工場について | 60 |

| | |
|-----------------------|----|
| 3)クロス集計結果 | 62 |
| (1)クロス集計について | 62 |
| (2)転居希望者について | 62 |
| (3)住環境の向上項目について | 63 |
| 4. 今後の課題 | 64 |

1. アンケート調査の概要

1) アンケートの目的

近年、社会経済情勢の変化等により、工場から住宅へと転換が進み、新たな住民と工場の間で住工混在による様々な課題を抱える地域が市内に存在するとともに、企業の市外流出の事例も見受けられるのが現状です。

こうした背景を踏まえ、第五次守口市総合基本計画において主要な施策の一つとして位置づける「企業と住民が共生できる環境づくり」に向け、本市における工場及びその周辺の現状を把握するため、実態調査を行うことにより、住環境の向上、産業の活性化等、今後のまちづくりの方向性を検討する資料として整理することを目的とします。

2) アンケートの種類と方法

(1) 工場事業者アンケートの実施方法

工場事業者アンケート対象者の抽出

- ・ 守口市内に製造業の工場を持つ全事業者(工場との併用住宅を含む)を対象としました。
- ・ 同一の事業者が複数の工場を経営している場合、対象となるのは一事業所としました。
- ・ 従業員が1,000人を超える事業所は、対象外としました。

工場事業者アンケート調査票の配布、回収

- ・ アンケート調査票は、工場を訪問し、ポスティングにより配布しました。
- ・ 廃業者や製造業以外の工場を除き、916件調査票を配布しました。
- ・ 調査票は、1～2週間の記述期間を設けて訪問による回収を行いました。
- ・ アンケートの配布は、10月4日～10月19日、回収は10月20日～11月10日にかけて行いました。
- ・ 配布したアンケート916件のうち、645件を回収しました(回収率70.4%)。

(2) 住民アンケートの実施方法

住民アンケート対象者の抽出

- ・ 住民アンケートは、工業系用途地域内の工場周辺に居住する3,000世帯を対象としました。
- ・ 工業系用途地域内の工場周辺50m以内の住宅(戸建、共同住宅)を選択し、町丁目ごとの住宅数に応じてアンケート対象者を抽出しました。

住民アンケート調査票の配布、回収

- ・ アンケート調査票の配布は、住宅を訪問しポスティングにより行いました。
- ・ 住宅が共同住宅の場合、原則として1階の住宅を対象としました。
- ・ アンケートの配布は、10月12日～10月20日にかけて行いました。
- ・ 回収は、アンケート調査票に同封した返信用封筒による郵送で行いました。
- ・ 配布したアンケート3,000件のうち、855件を回収しました(回収率28.5%)。

3) アンケート結果の概要

(1) 工場事業者アンケート結果の概要

- ・ 従業員5人未満の事業所が約半数を占め、中小工場が多いのが特徴です。北部ではその傾向が高くなっています。
- ・ 工場を操業するにあたって、約8割の事業者が周辺の住民に配慮しているという結果がでました。工業系用途地域以外のその他の地域では、その比率が高く、周辺住民への配慮がうかがえます。配慮している項目は、騒音が一番多く、道路をふさぐなど交通が二番目でした。
- ・ 住民から苦情を受けた場合、9割以上の事業者が何らかの対応を行っています。対応策の主なものは、「騒音の減少」、「操業時間の変更」、「交通への配慮」です。
- ・ 工場を操業するにあたって問題となっている項目は、「受注、販売量が減少している」、「地価や賃料が高い」などで不景気で利益確保が困難な状況がわかりました。また、北部では「道路が狭く、搬出入が不便」、南部では「地価や賃料が高い」と「通勤が不便」、その他地域では「道路が狭く、搬出入が不便」の比率が高い傾向が見られました。交通条件に関しての問題点は少なく、交通の利便性は確保されているといえます。
- ・ 工場移転を希望している事業者は2割弱あるという結果がでました。移転を希望する理由のうち、最も多い項目は、「用地が狭い」でした。遊休地の活用など、新たな工業用地を確保する必要があると考えます。
- ・ 工場移転の跡地の具体的な用途としては、「マンション」「倉庫」などがあり、場合により高層の建物や住宅地への転換を抑制する方策が必要と考えます。
- ・ 土地や建物を借りている事業者は所有している事業者よりも移転希望率が高い傾向が見られました。また、周辺住民から苦情を受けた事業者は、受けていない事業者よりも移転希望率が高い傾向が見られました。事業の継続には、安定して事業を営める工業用地の確保が必要と考えます。

(2) 住民アンケート結果の概要

- ・ 回答者のご家族の人数を男女、年代別に集計したところ、男女とも60～70代の方が最も多く、高齢化が進んでいる状況がうかがえます。北部ではよりその傾向が顕著に見られました。
- ・ 現在の住居に移転した理由で最も多いものは、「通勤や通学が便利」、ついで「買い物等日常生活が便利」が多く、利便性が高いことがわかりました。
- ・ 20年以上住んでいる人が半数以上で、回答者の9割は今後も住み続けると回答されました。
- ・ 約4割の回答者が周辺に「住環境に影響を及ぼす工場がある」という結果がでました。回答で多かった項目は「騒音」で、ついで「交通(道路をふさぐ等)」、「と「振動」でした。しかし、「影響を及ぼす工場がない」と回答された人が半数以上おり、工場があっても住環境に影響がないと考える人が多いことがわかりました。
- ・ 住環境の維持・向上を図るための必要と思われる項目については、「安全な歩行

空間の確保」と「道路の拡幅など、交通利便性の向上」など道路整備に関するものが多いことがわかりました。ついで「公園や緑地の確保」があげられました。

- ・ 影響ある工場が周辺にある人は、「住宅と工場が共存していくためのルールづくり」と回答される比率が高く、住民は話し合いによる解決を望んでいることがわかりました。「住宅と工場が共存していくためのルールづくり」として具体的には、「就業時間」、「道路・交通」、「住民とのコミュニケーション」の回答が多く見られました。
- ・ 住環境へ配慮してもらいたい項目は、「騒音」が最も多く、住環境への影響が最も多いという結果がでました。
- ・ 周辺の工場について質問したところ、「工場が今のままか増えてもよい」と回答された方が4割以上ありました。市民4割は、守口市において工場は必要と考えられているという結果がでました。

4) グラフ内数値の注意点

- ・ 2章および3章で示すグラフ内の数値は、小数第2位を四捨五入しており、各数値を合計しても100%にならないことがあります。

2. 工場事業者アンケート調査の結果

1) 市全体についての調査結果

(1) 工場規模と業種について

問 1 操業している工場についておたずねします。

従業員数(守口市内)

正社員 _____人

正社員以外 _____人

従業員数については、正社員と正社員以外を合計し、合計人数を5人、10人、50人、100人で区切ったランクごとに事業所数を計測しました。5人未満の事業所が48.1%を占めています。規模が大きくなるほど事業所数は少なくなっており、50人以上の事業所は17箇所ありました。

市内の従業員における正社員の比率は、68.8%でした。

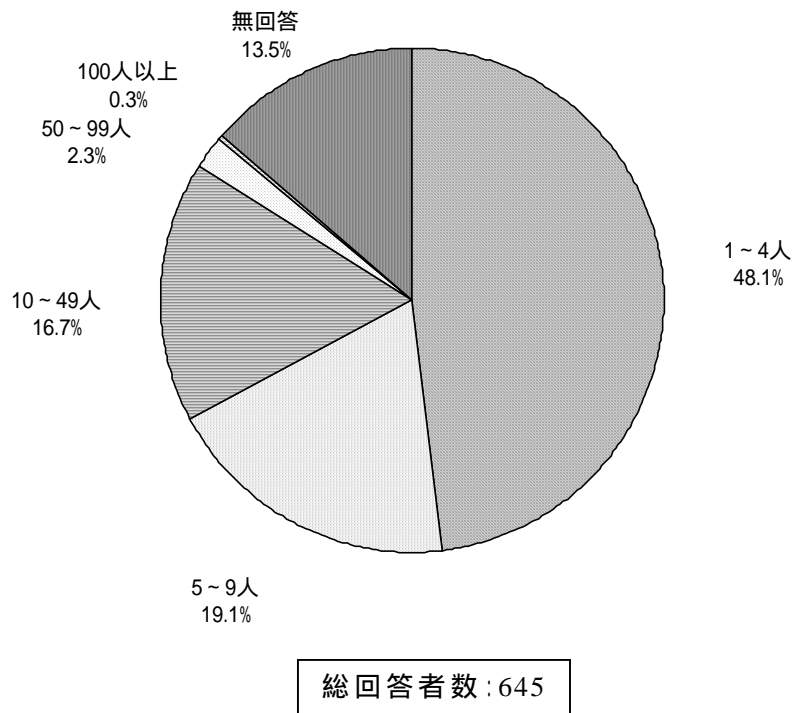


図2 - 1 従業員人数別事業所数

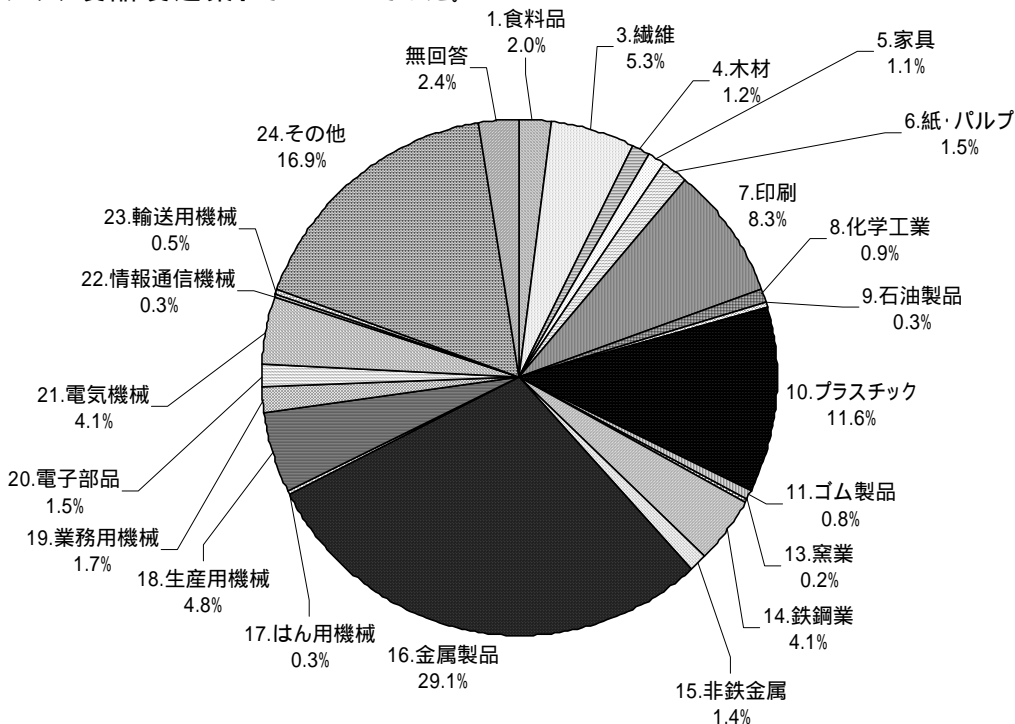
問 1 操業している工場についておたずねします。

業種を教えてください。該当する番号を1つ選び、で囲んでください(複数回答も集計)。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 食料品製造業 | 2. 飲料・たばこ・飼料製造業 |
| 3. 繊維工業 | 4. 木材・木製品製造業(家具を除く) |
| 5. 家具・装備品製造業 | 6. パルプ・紙・紙加工品製造業 |
| 7. 印刷・同関連業 | 8. 化学工業 |
| 9. 石油製品・石炭製品製造業 | 10. プラスチック製品製造業 |
| 11. ゴム製品製造業 | 12. なめし革・同製品・毛皮製造業 |
| 13. 窯業・土石製品製造業 | 14. 鉄鋼業 |
| 15. 非鉄金属製造業 | 16. 金属製品製造業 |
| 17. はん用機械器具製造業 | 18. 生産用機械器具製造業 |
| 19. 業務用機械器具製造業 | 20. 電子部品・デバイス・電子回路製造業 |
| 21. 電気機械器具製造業 | 22. 情報通信機械器具製造業 |
| 23. 輸送用機械器具製造業 | 24. その他の製造業 |

(_____)

市内の製造業者で最も多い業種は、「金属製品製造業」で 29.1%、2番目は「プラスチック製品製造業」で 11.6%でした。



総回答数: 663 (複数回答)

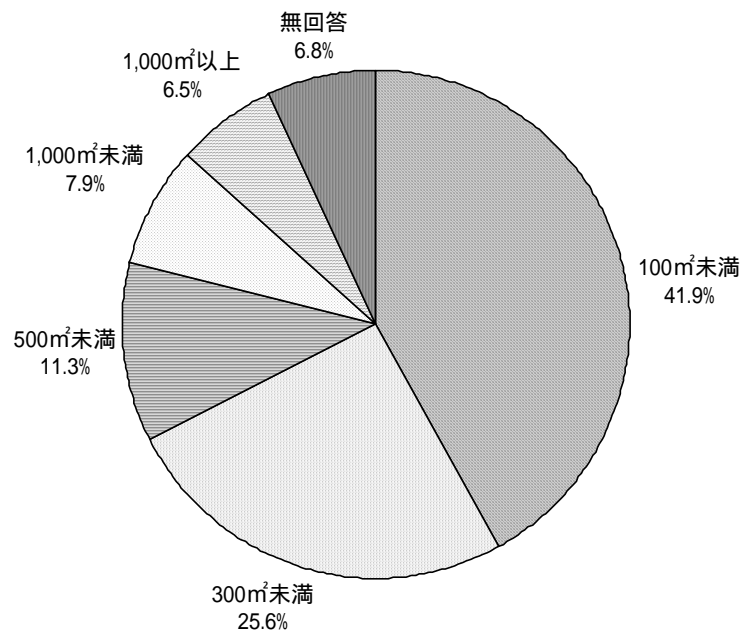
図 2 - 2 業種別事業所数

(2)工場の土地と建物について

問 2 工場(守口市内)の敷地面積を教えてください。該当する番号を1つ選び、で囲んでください。

1. 100 m²未満 2. 300 m²未満 3. 500 m²未満 4. 1,000 m²未満 5. 1,000 m²以上

工場の敷地面積は、100 m²未満の事業所が 41.9%を占めています。1000 m²以上の事業所は 6.5%で、42 箇所ありました。



総回答者数 : 645

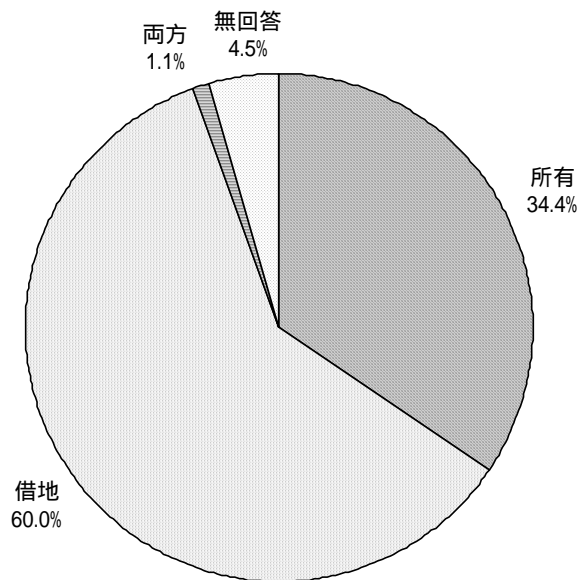
図 2 - 3 敷地面積別事業所数

問 3 土地、建物の所有形態を教えてください。

土地の所有形態を教えてください。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください。

1. 所有している 2. 借地している

土地の所有形態は、借地している事業所が 60.0%あり、所有している事業所より多いという結果がでました。



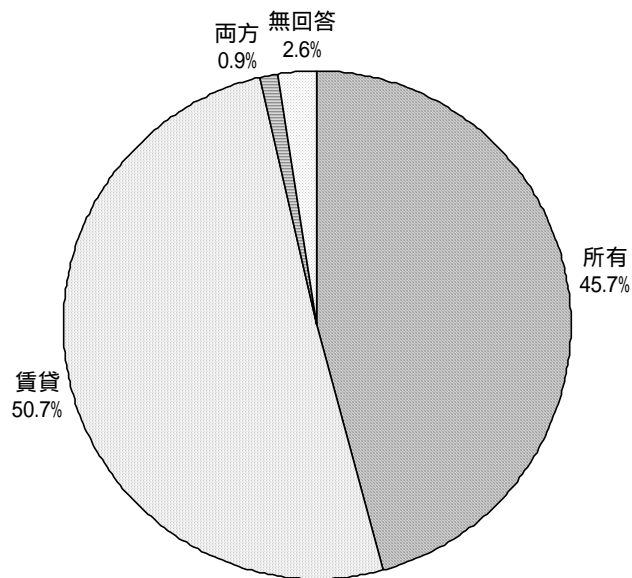
総回答者数 : 645

図 2 - 4 土地所有形態別事業所数

問 3 土地、建物の所有形態を教えてください。
建物の所有形態を教えてください。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください。

1. 所有している 2. 賃貸している

建物の所有形態は、賃貸している事業所が 50.7%、所有している事業所が 45.7%となっており、土地よりも所有の割合が高くなっています。



総回答者数 : 645

図 2 - 5 建物所有形態別事業所数

(3) 周辺住民との関わりについて

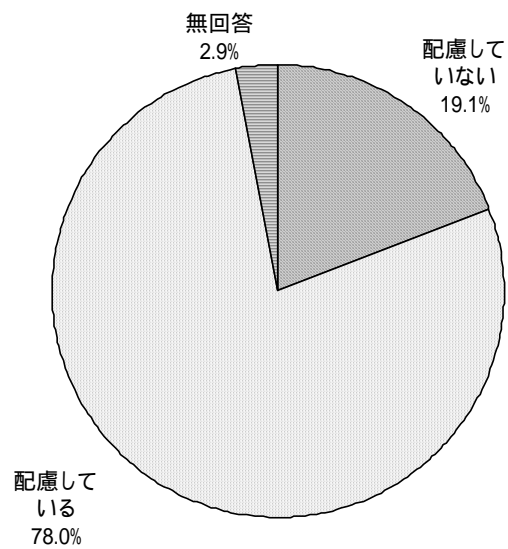
問 4 工場を操業するにあたって、周辺の住民に配慮していることはありますか。

1 該当する番号を1つ選び、で囲んでください。

1. 配慮していない

2. 配慮している

工場を操業するにあたって、周辺の住民に配慮している事業所は、78.0%ありました。



総回答者数: 645

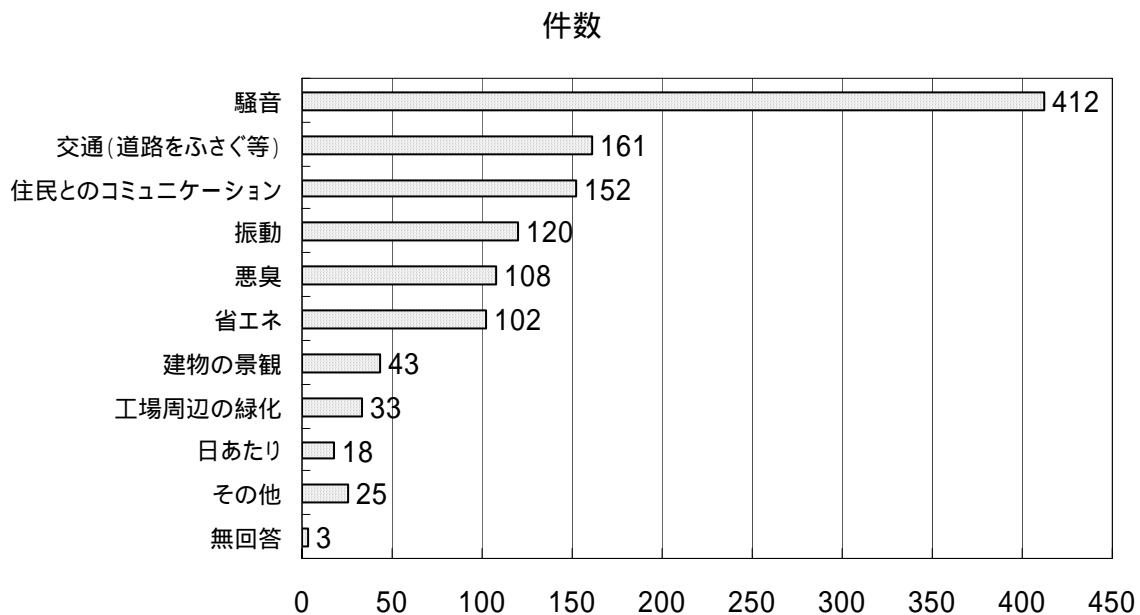
図 2 - 6 住民への配慮の有無別事業所数

問 4 工場を操業するにあたって、周辺の住民に配慮していることはありますか。
 2 配慮している項目は何ですか。下記の該当する番号をすべて選び、 で囲んでください(2で「配慮している」人のみ回答)。

1. 騒音 2. 悪臭 3. 振動 4. 日あたり
 5. 建物の景観 6. 交通(道路をふさぐ等)
 7. 工場周辺の緑化 8. 住民とのコミュニケーション
 9. 省エネ・リサイクル等地球環境への配慮
 10. その他(具体的に: _____)

工場を操業するにあたって、周辺の住民に配慮している項目は、「騒音」が一番多く412件、ついで「交通(道路をふさぐ等)」が161件でした。

その他の回答で主なものは、「工場周辺の清掃」と「操業時間」に関する回答でした。



総回答数:1177(複数回答)

図2 - 7 配慮の項目別件数

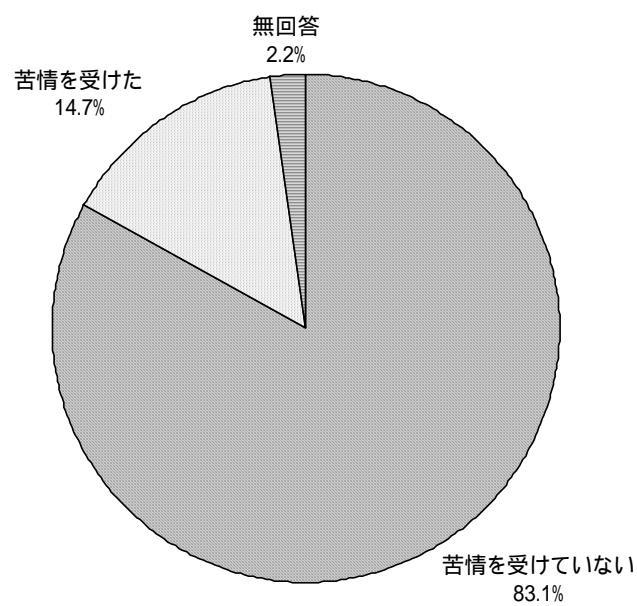
問 5 周辺の住民からの苦情についておたずねします。

-1 今までに住民から工場への苦情を受けたことがありますか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください。

1. 受けていない

2. 受けたことがある

周辺の住民から苦情を受けたことがある事業所は、14.7%ありました。



総回答者数 : 645

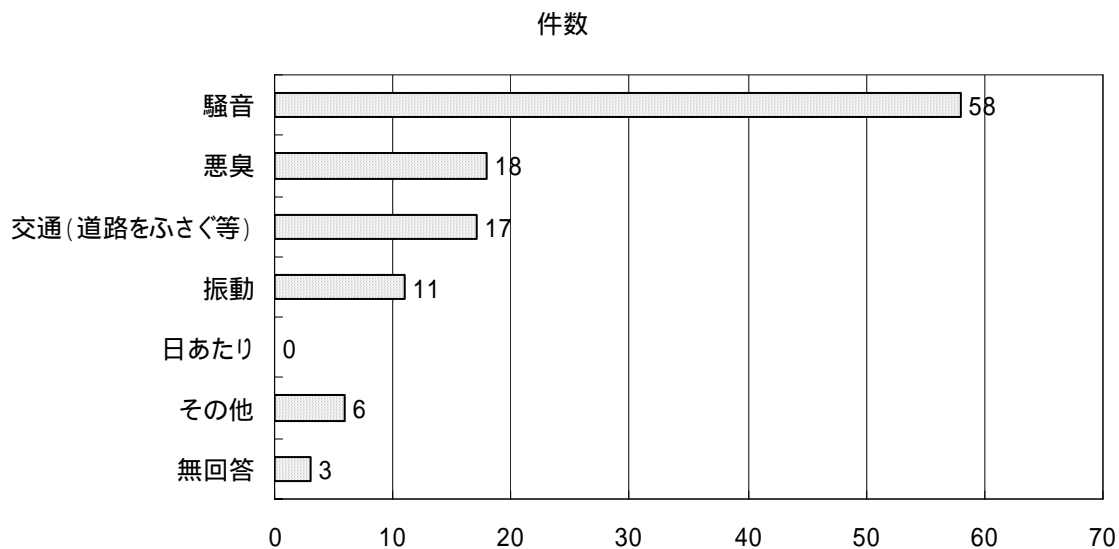
図 2 - 8 苦情の有無別事業所数

問 5 周辺の住民からの苦情についておたずねします。

-2 今までに住民から工場への苦情を受けた項目は何ですか。下記の該当する番号をすべて選び、で囲んでください(-1 で「受けたことがある」人のみ回答)。

1. 騒音 2. 悪臭 3. 振動 4. 日あたり 5. 交通(道路をふさぐ等)
6. その他(具体的に: _____)

周辺の住民から苦情を受けた項目のうち、最も多い項目は「騒音」で 58 件を占めています。「悪臭」と「交通」がそれに続いています。その他では、「自転車置き場に雑草が多く、外観が悪い」という回答がありました。



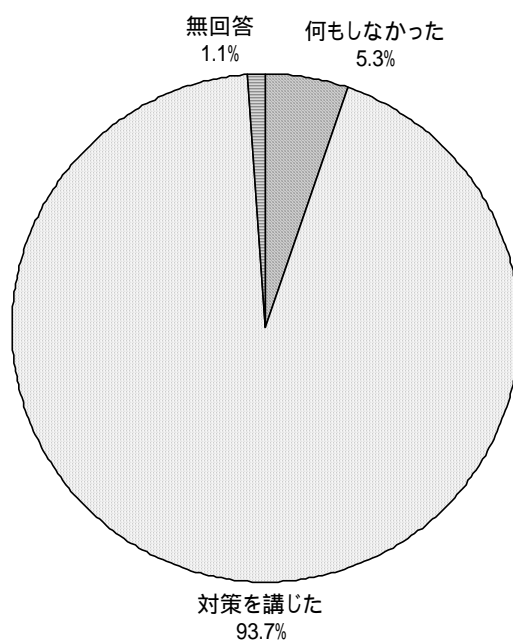
総回答数: 113

図 2 - 9 苦情の項目別件数

問 5 周辺の住民からの苦情についておたずねします。
苦情を受けてどのように対応されましたか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください。(-1 で「受けたことがある」人のみ回答)。

- 1. 何もしなかった
- 2. 対策を講じた(具体的に: _____)

苦情を受けて、93.7%の事業所が何らかの対応を行っています。



総回答者数: 95

図 2 - 10 苦情への対応別事業所数

具体的な対応策の主なものは、「騒音の減少」が24件、「作業時間の変更」が19件、「交通への配慮」が13件でした。

その他の回答のなかには、「ベアリングの交換」「機械構造の改良」などが含まれています。

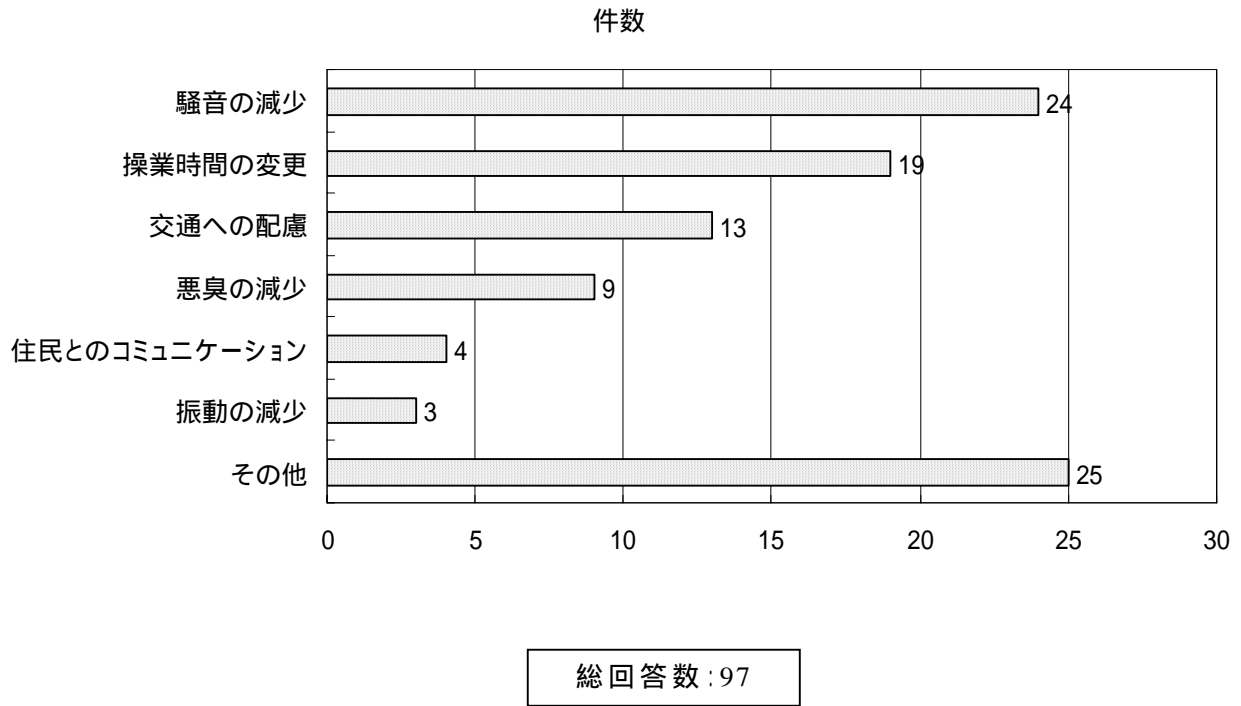


図2 - 11 苦情への具体的対応策

(4) 工場の現状と展望について

問 6 工場の操業についておたずねします。

現在の場所で工場を操業して何年になりますか。該当する番号を1つ選び、で囲んでください。

1. 1年未満 2. 5年未満 3. 10年未満 4. 20年未満 5. 20年以上

操業年数は20年以上の事業所が64.8%を占めています。5年未満は9.5%でした。

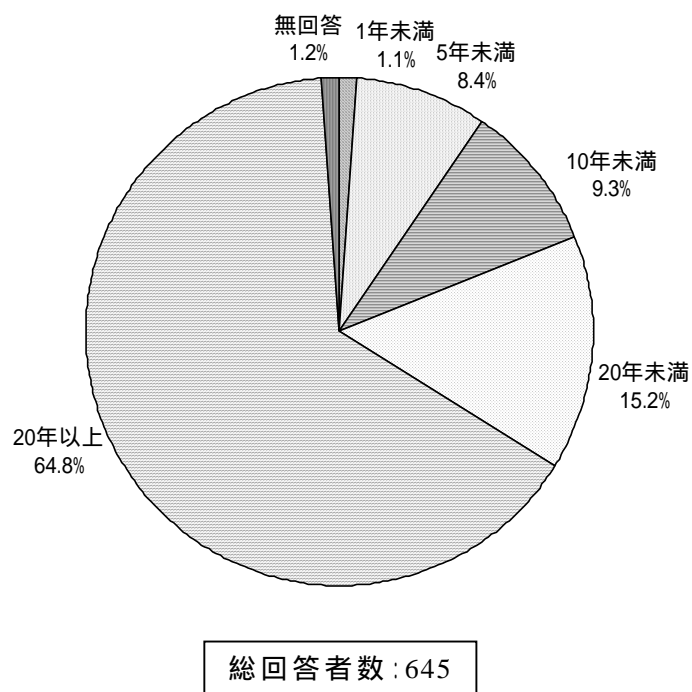


図2 - 12 操業年数別事業所数

問 6 工場の操業についておたずねします。

工場の操業を続けるために、後継者不足等の問題はありますか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください。

1. 問題がない 2. 問題がある(具体的に: _____)

後継者不足など、工場の操業を続けるための問題がある事業所が 22.0%あるという結果がでました。

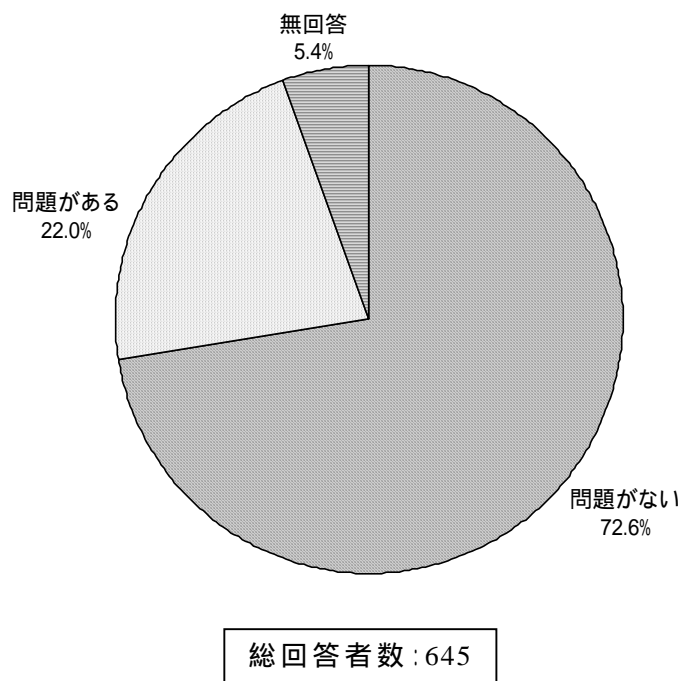


図 2 - 13 後継者問題の有無別事業所数

具体的な回答で主なものは、「後継者がいない」が 79 件、「仕事量の不足」が 25 件、「廃業予定」が 6 件でした。

その他の回答のなかには、「家賃が高い」「建物の老朽化」などがありました。

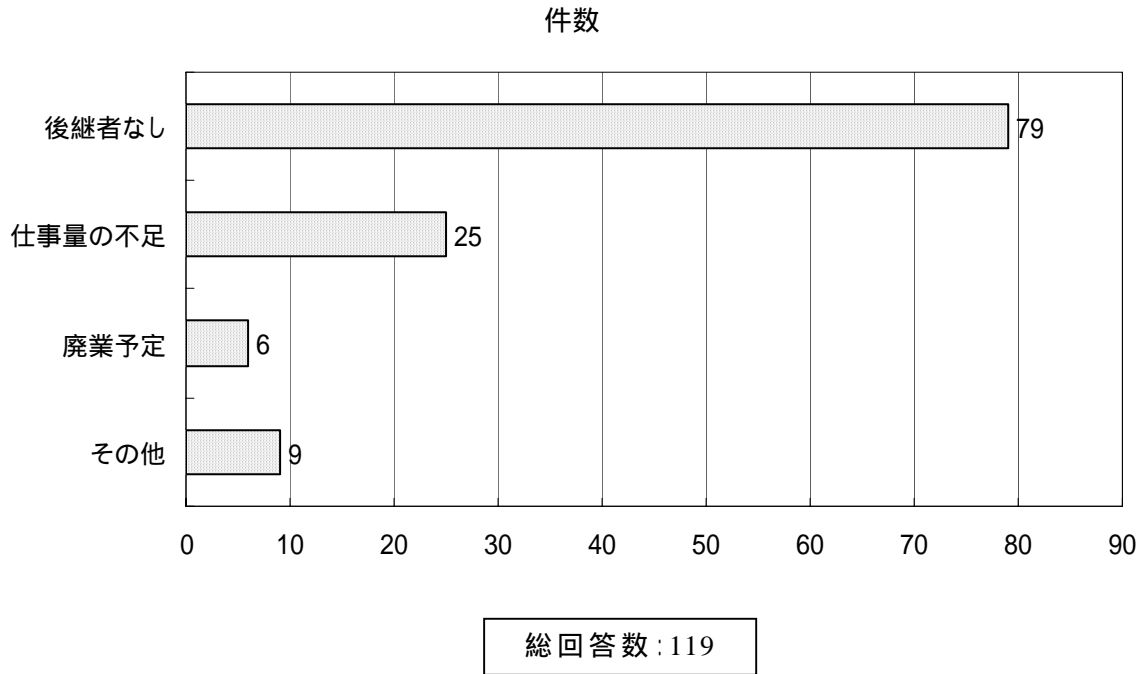


図 2 - 14 操業の不満の有無別件数

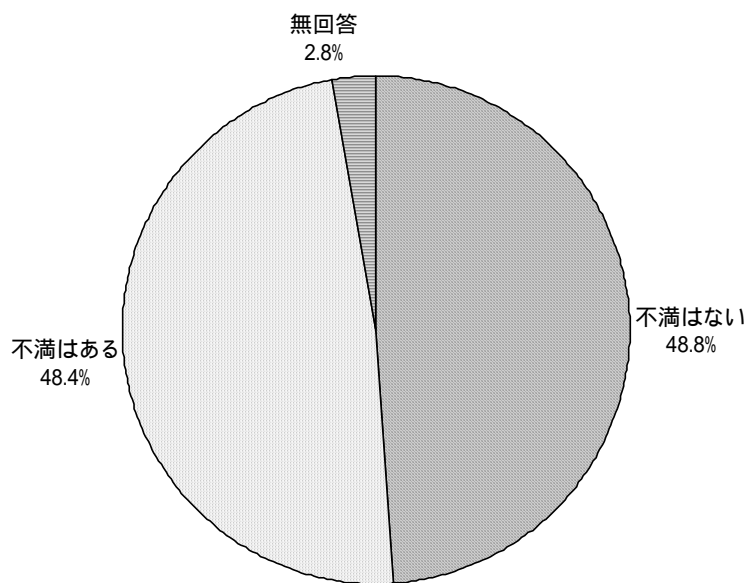
問 7 現在の場所で工場を操業するにあたって、不満はありますか。

1 該当する番号を1つ選び、で囲んでください。

1. 不満はない

2. 不満はある

工場を操業するにあたって不満がある事業所とない事業所は、ほぼ同数でした。



総回答者数 : 645

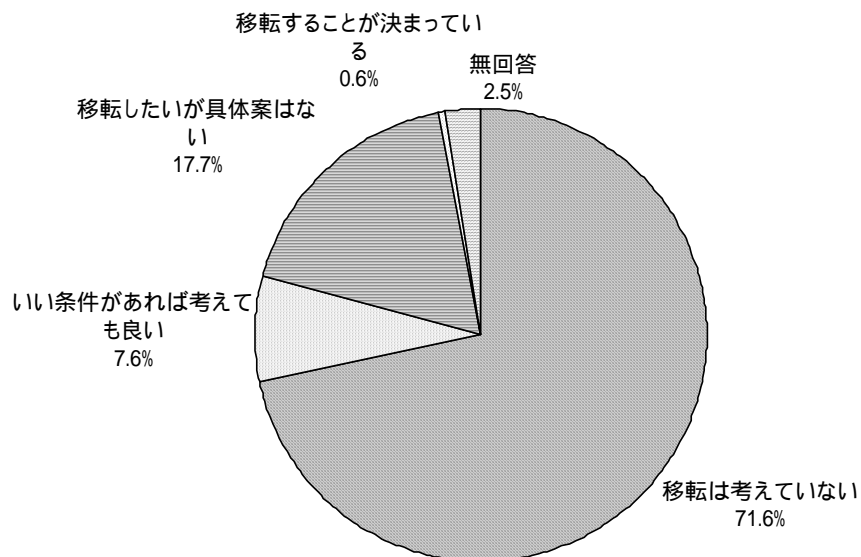
図 2 - 15 操業の不満の有無別事業所数

問 8 工場移転についておたずねします。

現在、工場移転をお考えですか。該当する番号を1つ選び、で囲んでください。

1. 移転は考えていない
2. いい条件があれば、考えてもよい
3. 移転したいが具体案はない
4. 移転することが決まっている

工場移転を希望している事業所(上記回答の3または4)は2割弱ありますが、考えていない事業所が71.6%と多数を占めています。



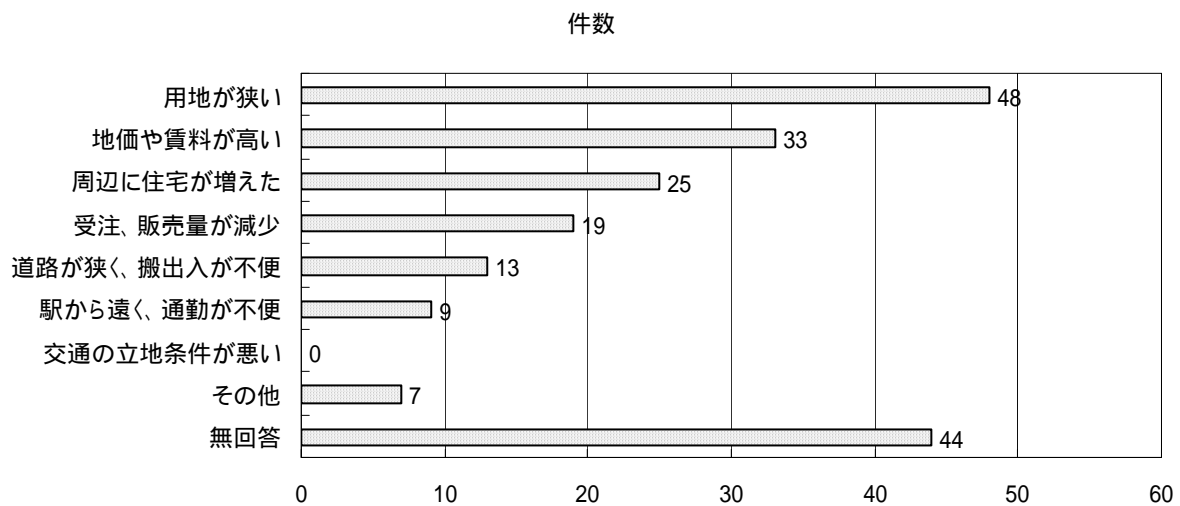
総回答者数: 645

図2 - 17 移転の希望別事業所数

問 8 工場移転についておたずねします。
 移転を希望される理由は何ですか。該当する項目をすべて選び、 で囲んでください(で「3または4」の人のみ回答)。

- 1. 用地が狭い
- 2. 地価や賃料が高い
- 3. 周辺に住宅が増えた
- 4. 道路が狭く、搬出入が不便
- 5. 駅から遠く、通勤が不便
- 6. 交通の立地条件が悪い
- 7. 受注、販売量が減少
- 8. その他(具体的に: _____)

移転を希望する理由のうち、最も多い項目は、「用地が狭い」で 48 件でした。それに続いて「地価や賃料が高い」が 33 件、「周辺に住宅が増えた」が 25 件でした。
 その他の回答で主なものは、「2つの工場を合併したい」という回答でした。



総回答数: 198 (複数回答)

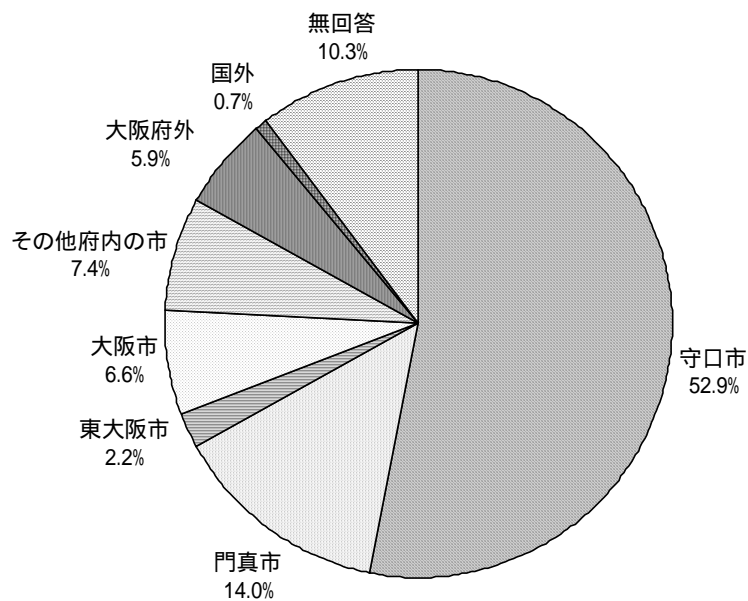
図 2 - 18 移転理由の項目別件数

問 8 工場移転についておたずねします。

移転先はどちらですか。具体案のない方は、希望する市区を選んでください。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください(で「3または4」の人のみ回答)。

1. 守口市
2. 門真市
3. 東大阪市
4. 大阪市(何区ですか: _____ 区)
5. その他大阪府(何市ですか: _____ 市)
6. 大阪府外
7. 国外

工場の移転先として最も多く回答があったのは、「守口市」で 52.9%を占めました。市外では「門真市」と「大阪市」が多くの回答を得ました。大阪市内では「鶴見区」、その他大阪府では「寝屋川市」が希望移転先として多く選ばれました。



総回答数: 136(複数回答)

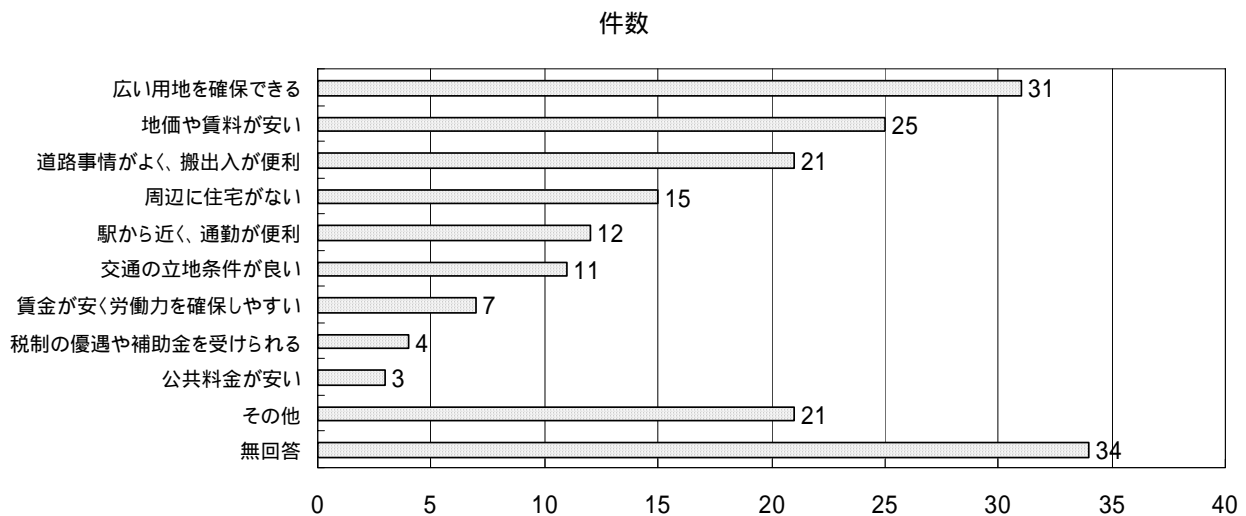
図 2 - 19 移転先別事業所数

問 8 工場移転についておたずねします。
 移転先を選ばれた理由は何ですか(予定を含む)。該当する項目をすべて選び、
 で囲んでください(で「3または4」の人のみ回答)。

- 1. 広い用地を確保できる
- 2. 地価や賃料が安い
- 3. 周辺に住宅がない
- 4. 道路事情がよく、搬出入が便利
- 5. 駅から近く、通勤が便利
- 6. 交通の立地条件が良い
- 7. 賃金が安く労働力を確保しやすい
- 8. 税制の優遇や補助金が受けられる
- 9. 公共料金(光熱費等)が安い
- 10. その他(具体的に: _____)

移転先を選ばれた理由のうち最も多い項目は、「広い用地が確保できる」で 31 件で
 した。ついで「地価や賃料が安い」が 25 件、「道路事情がよく、搬出入が便利」が 21 件
 でした。

その他の回答で主なものは、「自宅に近い」「本社や取引先に近い」という回答でした。



総回答数: 184 (複数回答)

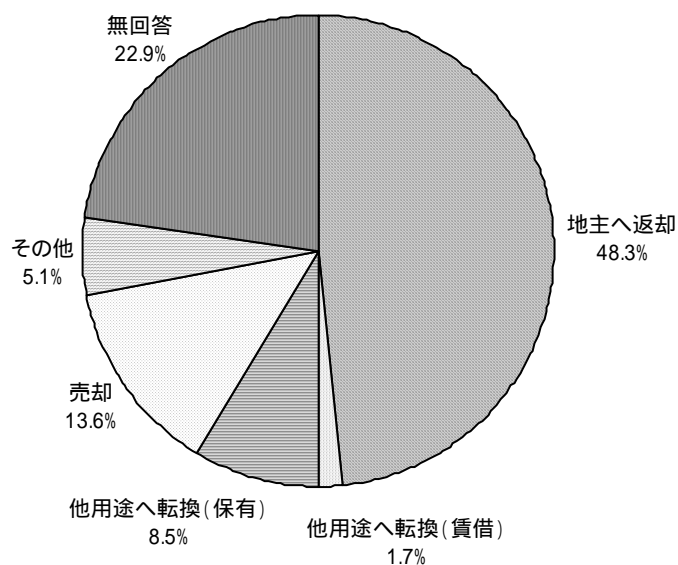
図 2 - 20 移転先理由別件数

問 8 工場移転についておたずねします。

移転した後、工場跡地は、どうされる予定ですか。該当する番号を1つ選び、で囲んでください(で「3または4」の人のみ回答)。

1. 地主へ返却
2. 賃借したまま他用途へ転換(具体的な用途: _____)
3. 保有したまま他用途へ転換(具体的な用途: _____)
4. 売却
5. その他(具体的に: _____)

工場移転の跡地については、「地主へ返却」が最も多く 48.3%、ついで「売却」が 13.6%でした。具体的な用途として、「保有したまま他用途へ転換」では「マンション」「倉庫」、「その他」では「特に決まっていない」などの回答がありました。



総回答者数: 118

図 2 - 21 跡地利用別事業所数

(5)自由意見

問 9 産業振興について、守口市へご意見がございましたら、自由にご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

守口市への自由意見には、64 件のご意見が寄せられました。その中では、「住工混在問題」、「公的援助」、「景気促進」に関するご意見を多くいただきました。

表 2 - 1 事業所からのご意見(一部)

| 項目 | 内容 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住工混在問題 | 住工混在が問題になってきている。守口高校跡地などの様な場所を工場用地として開放するなど、住居と工場の距離をあける対策をお願いしたい。 |
| | 工業地、準工業地、宅地の区分をしてほしい。 |
| | 工場の隣近所に新築住宅を建てられないように、工業地と宅地をしっかり区別してほしい。 |
| 公的援助 | 市内企業の事業拡大支援策をもっと拡大(増額)してほしい。 |
| | 市の施策は大企業に有利であるが、零細企業や市民に届いていない。末端の人々に届く施策を行ってほしい。 |
| 交通等 | 私共の地域は道幅も狭く、駐車も可の地域です。車の通行の妨げになるので、駐車禁止と大型車の通行の禁止をしてほしい。 |
| | 準工業地なので大型の車が多く、歩道に車を止めていることが多く見受けられます。住民に迷惑をかけている場合が多いと思います。 |
| 公共事業 | 入札に関して他の市役所で手続きをしようとしたのですが、市内業者のみ登録可となったため断られました。守口市役所も、厳しい環境におかれている市内業者を守るためにも、市内業者のみの登録にされてはいかがだと思います。 |
| | 公共事業は守口市内の各業者へ発注していただくように希望します。 |
| 景気促進 | 商店街ではシャッター店が多いので、街がもっともっと元気な街になるように、何か考えてくれませんか。 |
| | 仕事量が少なくなったので、続けていくのがかなり困難な状態にある。 |

2) 地域別についての調査結果

(1) 地域割りについて

地域特性を把握するため、アンケート対象工場を工業地域周辺の北部と南部に2分し、それと工業地域以外の地域を加え、3地域に区分しました。地域割り図を以下に示しました。

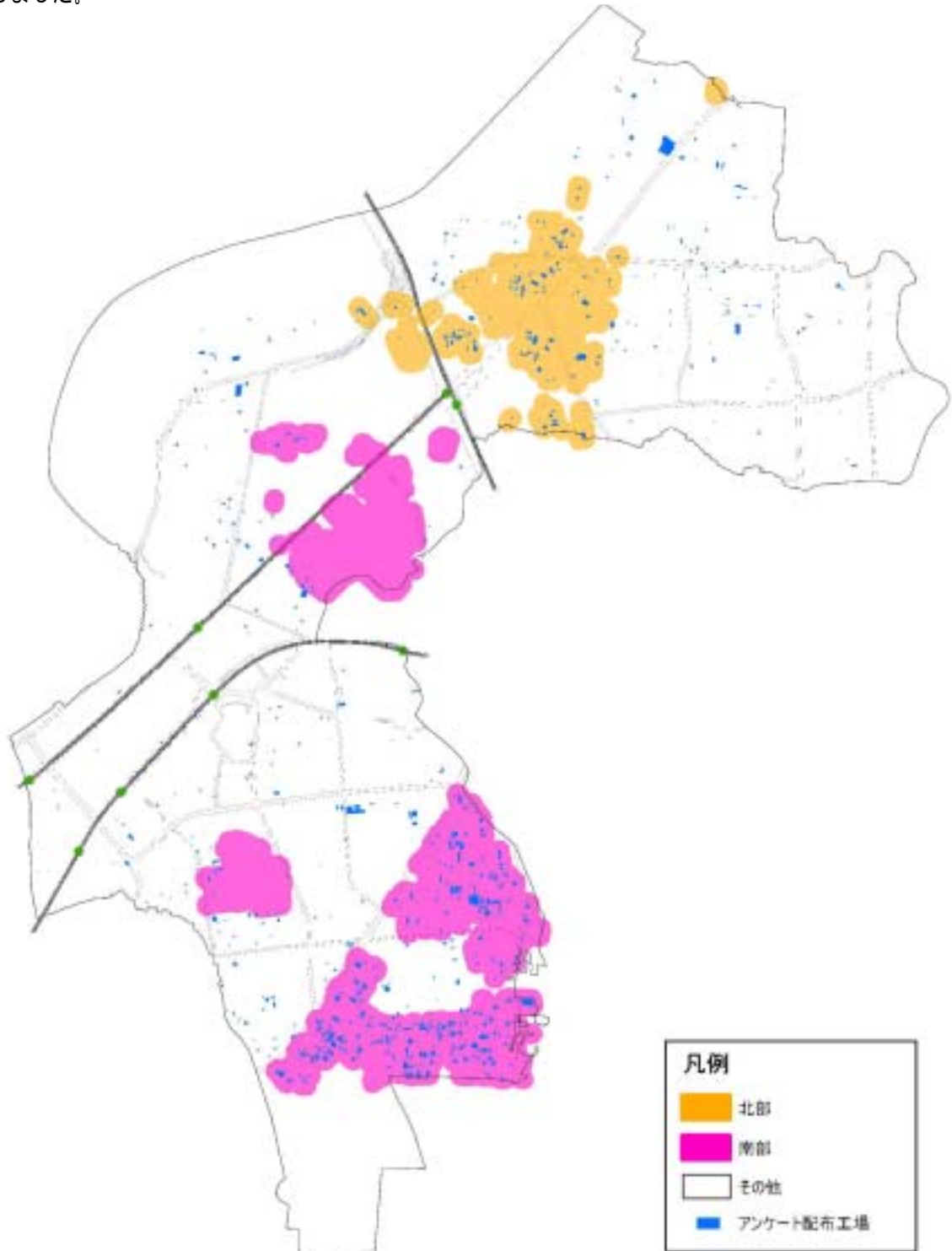


図2 - 22 工場事業者アンケート地域割り図

(2) 工場規模について

従業員数ごとの事業所数について(問1)

従業員数ごとの事業所数については、北部で1～4人の小規模な事業所の比率がやや高い傾向が見られました。

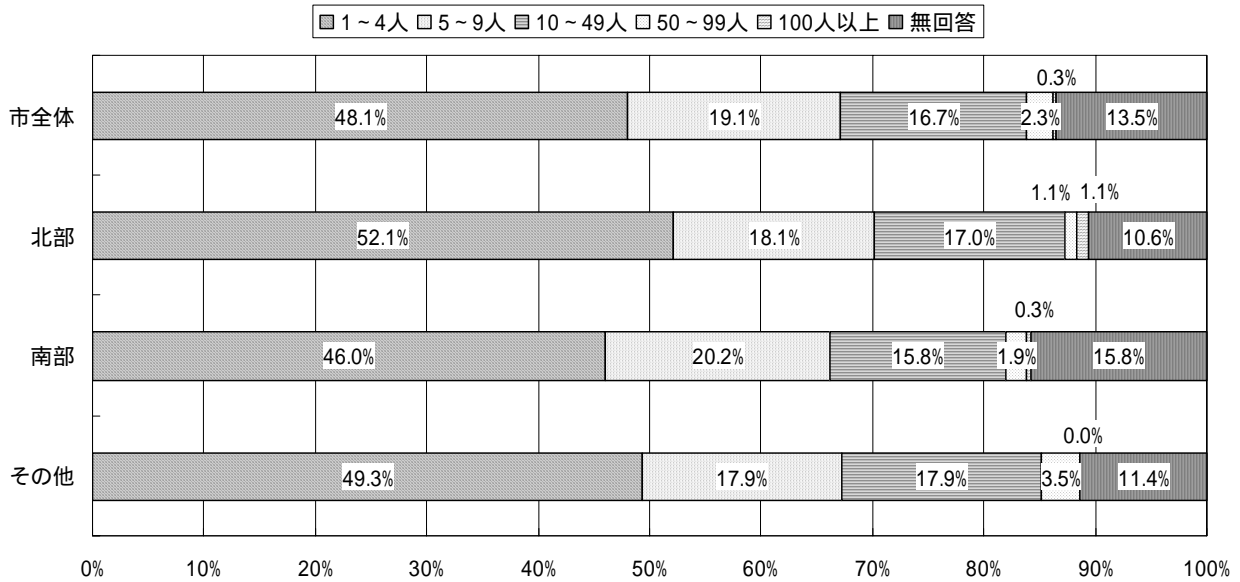


図2-23 従業員人数別事業所数(地域別)

(3) 工場の土地と建物について

敷地面積について(問2)

敷地面積ごとの事業所数については、南部で100㎡未満の小規模な事業所の比率が高い傾向が見られました。

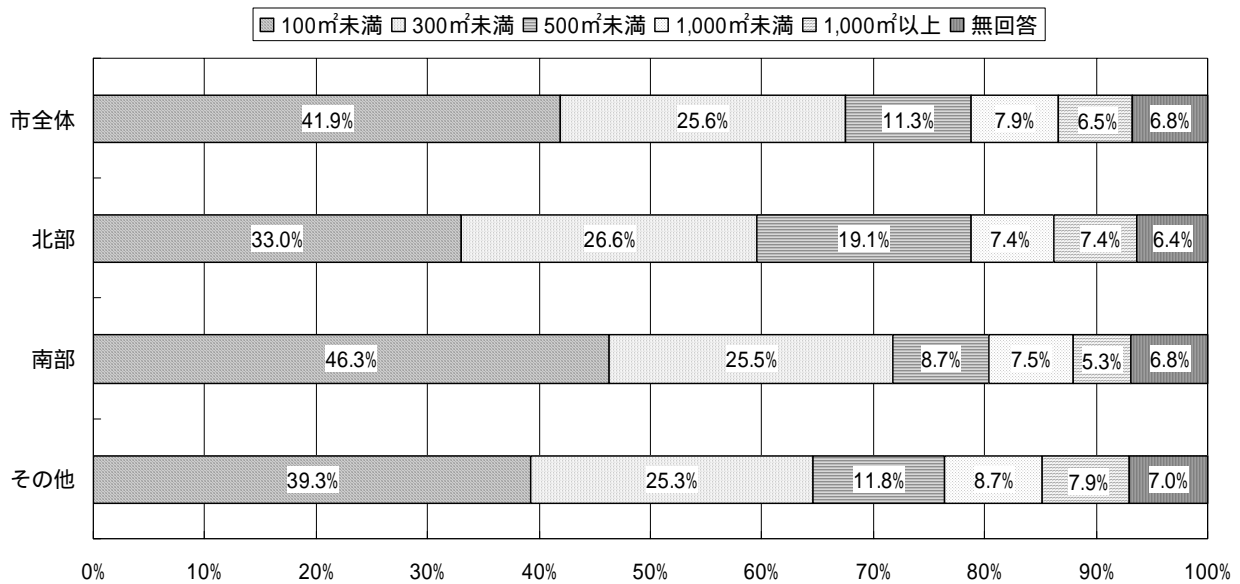


図2-24 敷地面積別事業所数(地域別)

土地の所有形態について(問3)

土地の所有形態ごとの事業所数については、その他地域で所有の比率が高い傾向が見られました

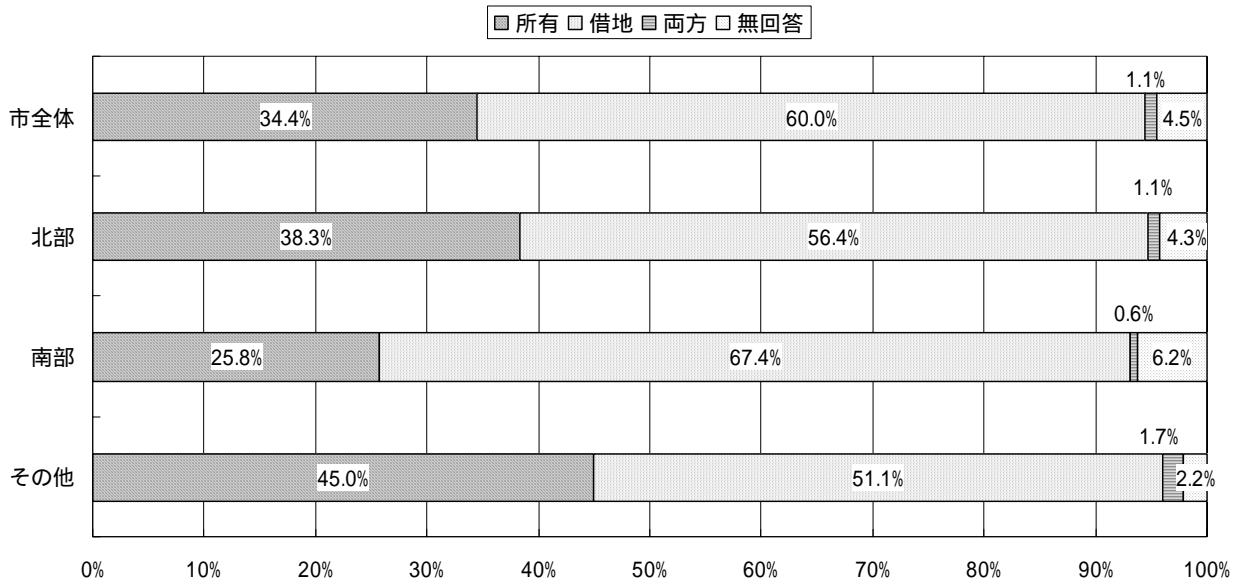


図2 - 25 土地所有形態別事業所数(地域別)

建物の所有形態について(問3)

建物の所有形態ごとの事業所数については、北部とその他地域で所有の比率が高く、南部では賃貸の比率が高い傾向が見られました。

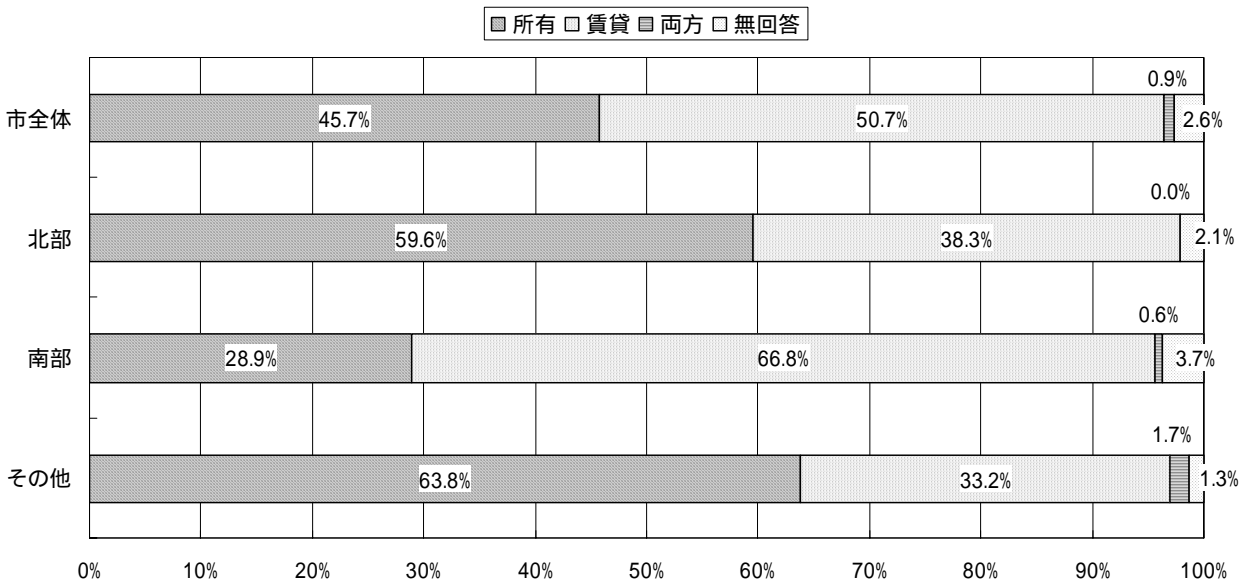


図2 - 26 建物所有形態別事業所数(地域別)

(4) 周辺住民との関わりについて

周辺住民への配慮(問4-1)

周辺住民への配慮の有無については、その他地域で配慮している事業所の比率がやや高い傾向が見られました。

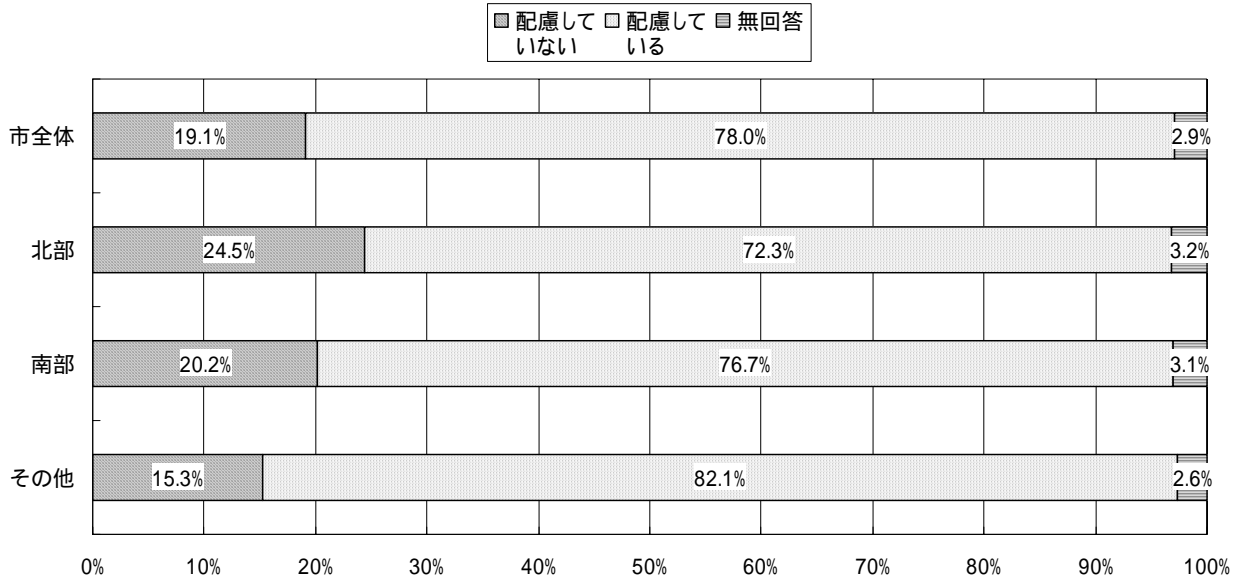


図2-27 周辺住民への配慮の有無別事業所数(地域別)

配慮している項目(問4-2)

配慮している項目については、「騒音」と「交通(道をふさぐ)」がどの地域でも一番と二番で、あまり地域別の変化は見られませんでした。

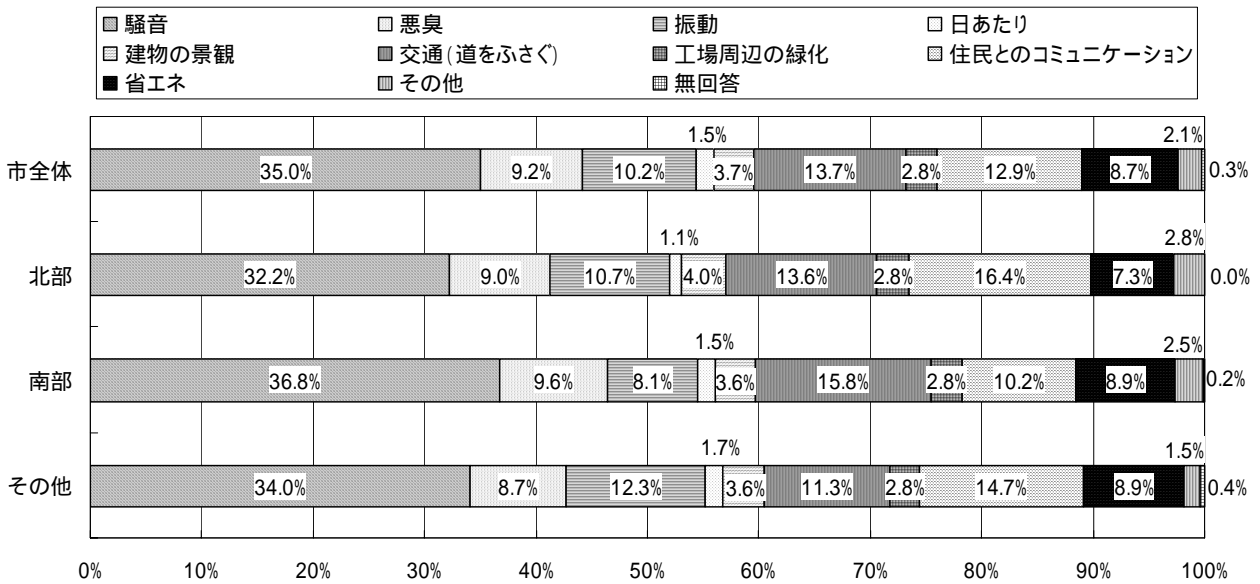


図2-28 配慮の項目別事業所数(地域別)

周辺住民からの苦情(問5 -1)

周辺住民からの苦情の有無については、その他地域で苦情を受けた事業所の比率が高い傾向が見られました。

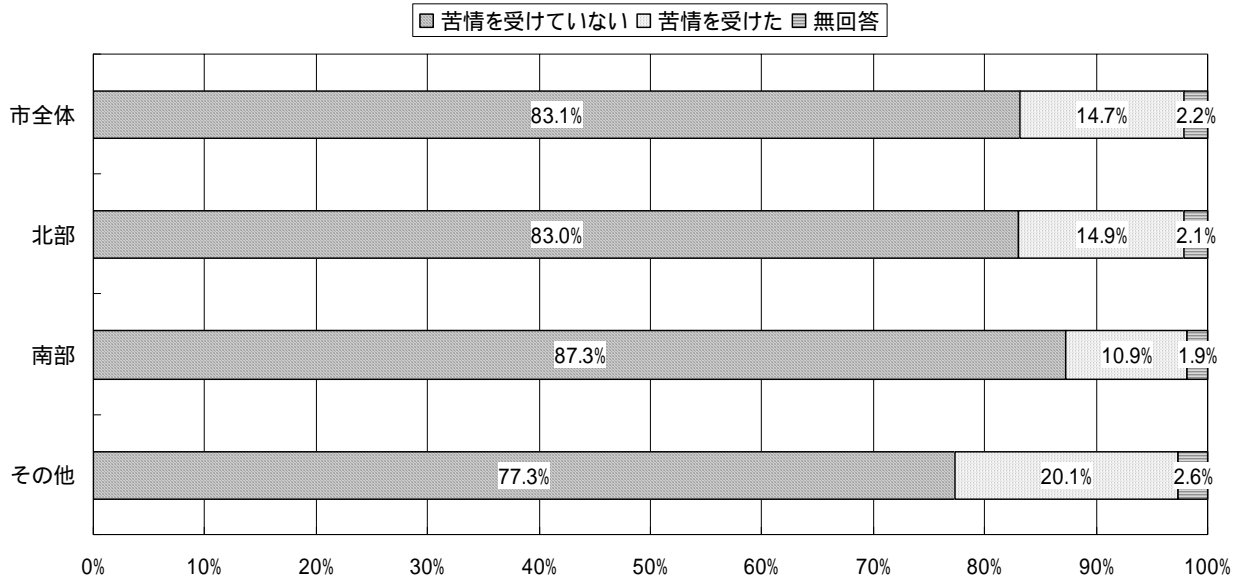


図2 - 29 苦情の有無別事業所数(地域別)

苦情の項目(問5 -2)

受けた苦情の項目については、どの地域も「騒音」が最も多いことがわかりました。北部では、「振動」の比率が高い傾向が見られました。

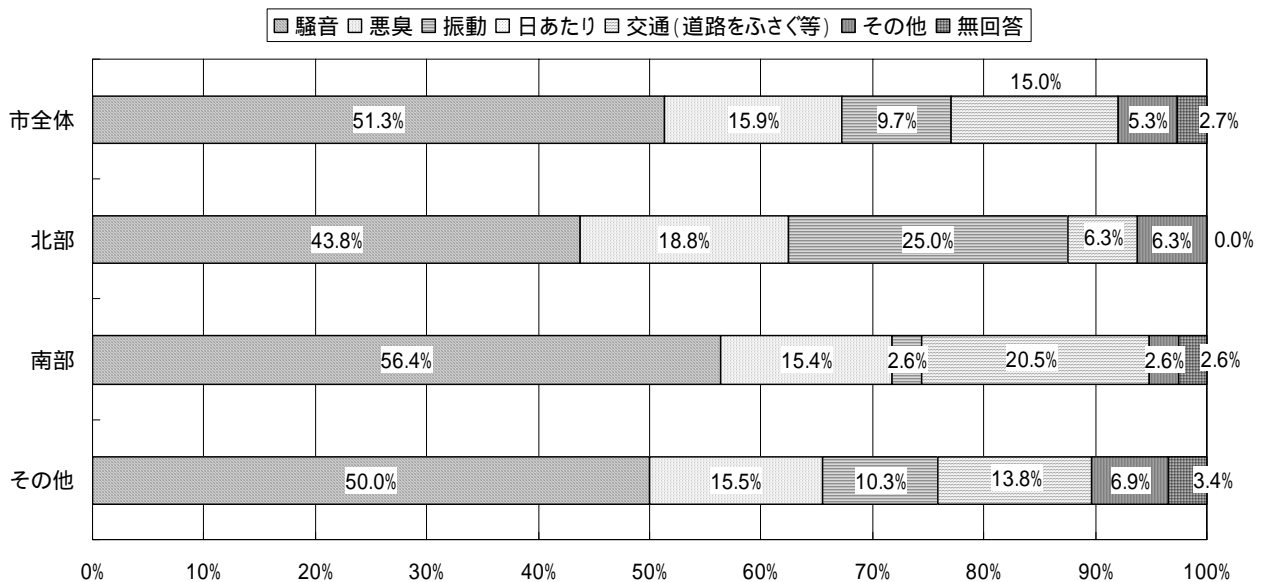


図2 - 30 苦情の項目別事業所数(地域別)

苦情への対応(問5)

苦情への対応については、どの地域でも90%以上の事業所が対策を講じており、地域別の傾向は見られませんでした。

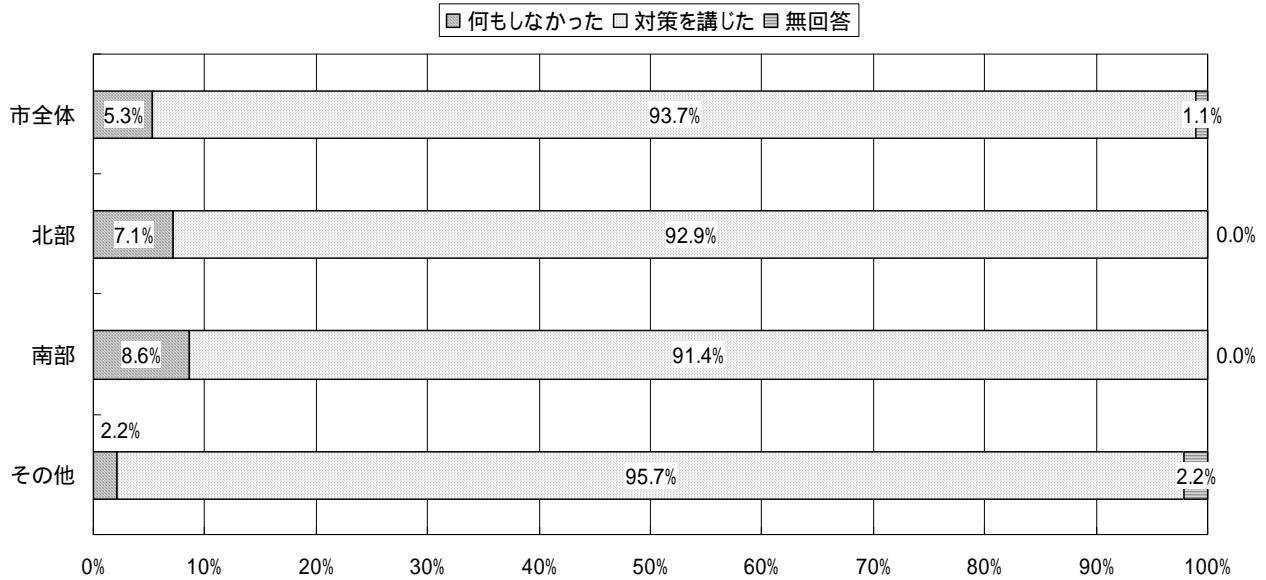


図2-31 苦情への対応別事業所数(地域別)

(5) 工場の現状と展望について

操業年数(問6)

操業年数ごとの事業所数については、北部とその他地域で20年以上の事業所の比率が高い傾向が見られました。

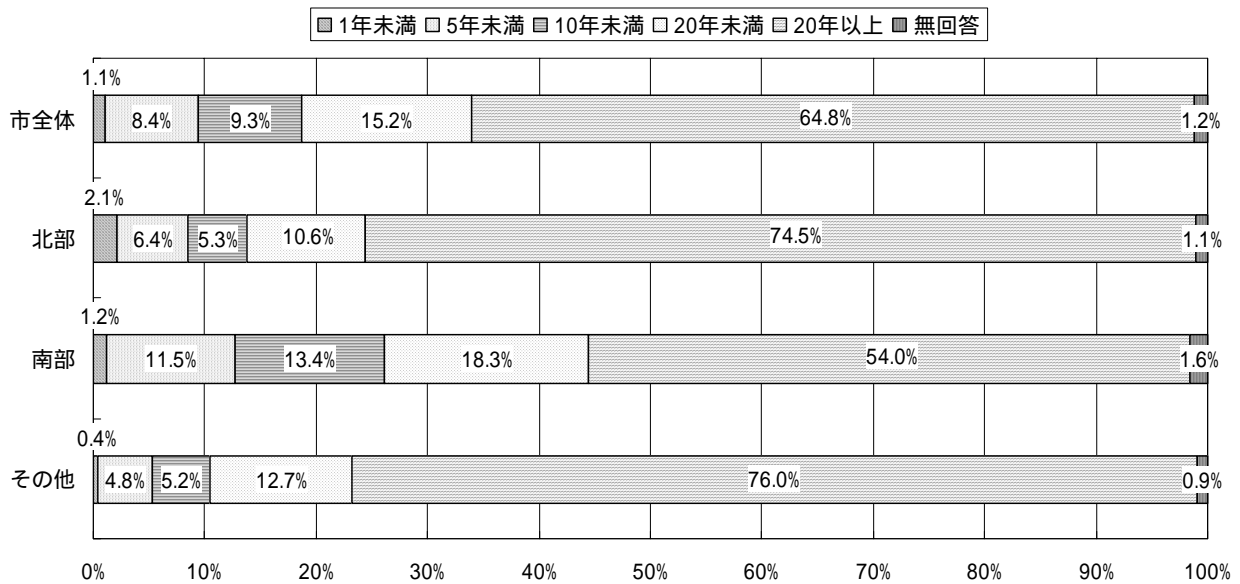


図2-32 操業年数別事業所数(地域別)

後継者問題(問6)

後継者問題については、その他地域で「問題がある」事業所の比率がやや高い傾向が見られました。

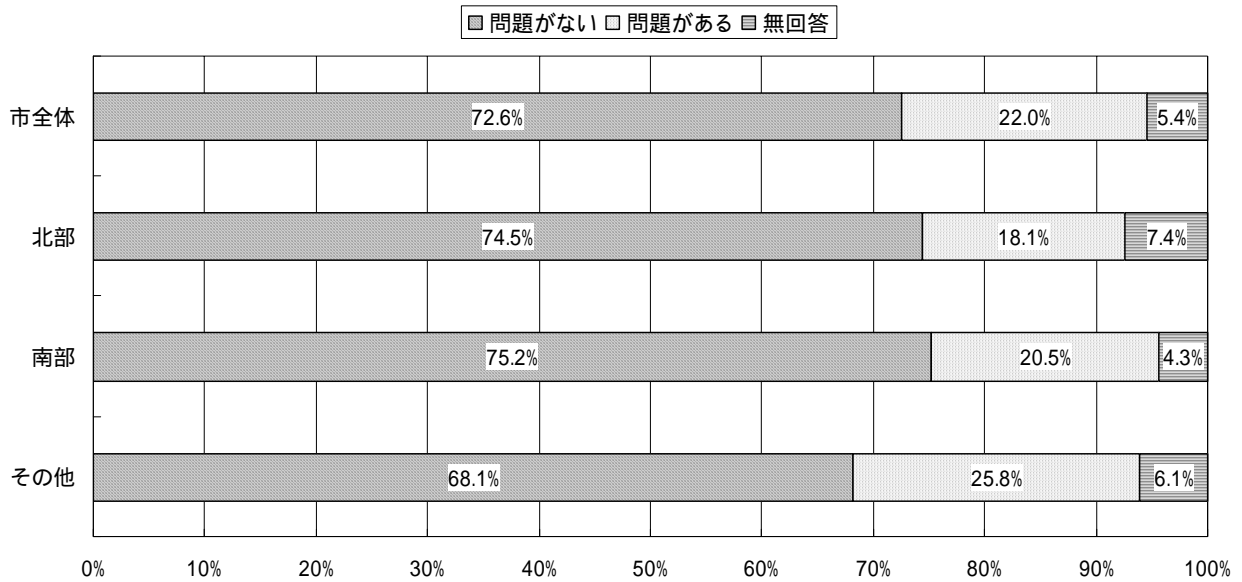


図2-33 後継者問題の有無別事業所数(地域別)

操業環境の不満(問7-1)

操業環境の不満の有無については、どの地域でもほぼ同じで、地域別の特徴は見られませんでした。

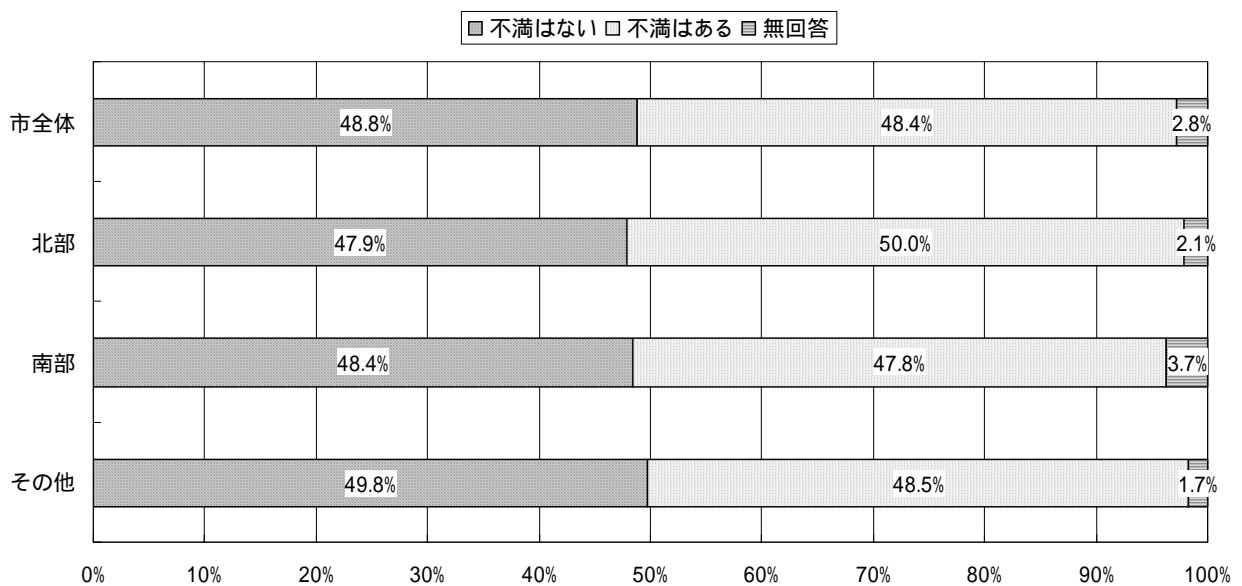


図2-34 操業の不満の有無別事業所数(地域別)

操業環境の不満項目(問7-2)

操業環境の不満項目については、市全体の出現比率と比較して地域別では次のことがわかりました。

- ・ 北部では「道路が狭く、搬出入が不便」の比率が高い。
- ・ 南部では「地価や賃料が高い」と「通勤が不便」の比率が高い。
- ・ その他地域では「道路が狭く、搬出入が不便」の比率が高い。

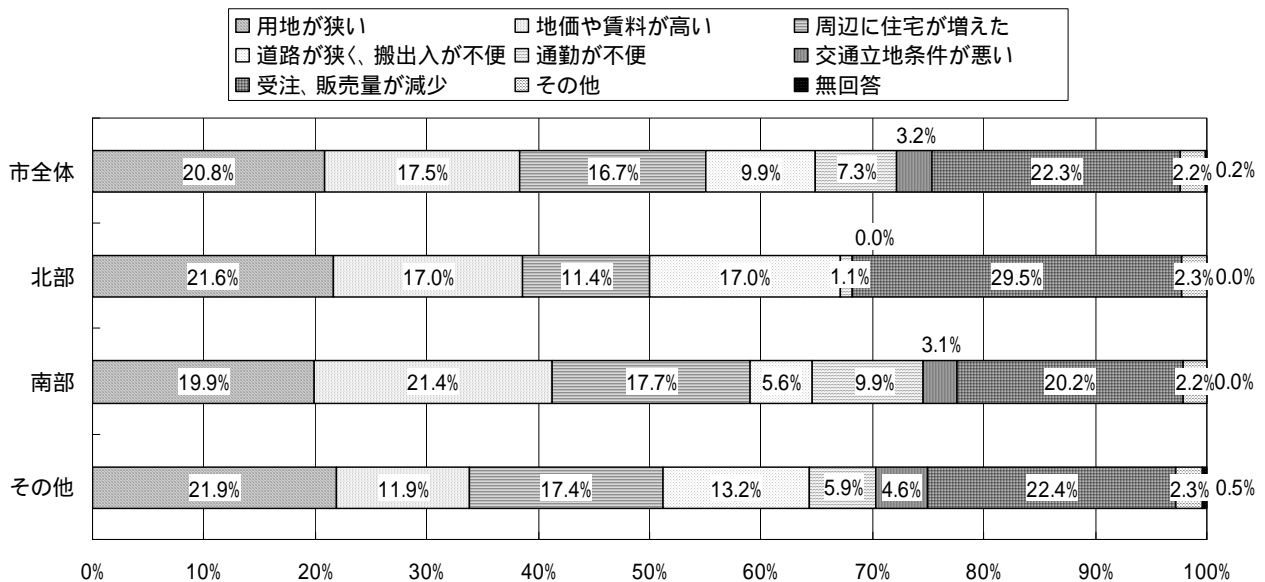


図2-35 操業環境の不満項目別事業所数(地域別)

工場移転の希望(問8)

どの地域でも、約7割かそれ以上の事業所は、移転は考えていないという結果ができました。工場移転を希望する事業所(「いい条件があれば考えてもよい」より右側の選択肢)は、22%~28%ありました。

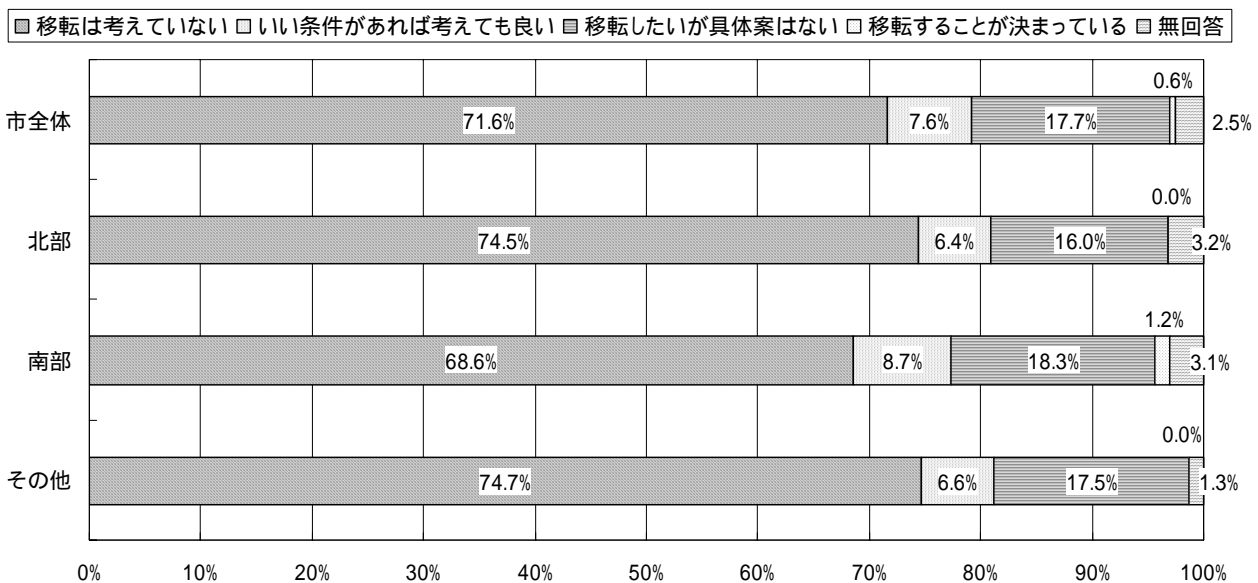


図2-36 移転の希望別事業所数(地域別)

工場移転の理由(問8)

工場移転の理由については、市全体の出現比率と比較して地域別では次のことがわかりました。これらの傾向は、操業環境についての不満項目とほぼ同じでした。

- ・ 北部では「道路が狭く、搬出入が不便」の比率が高い。
- ・ 南部では「通勤が不便」の比率が高い。
- ・ その他地域では「道路が狭く、搬出入が不便」の比率が高い。

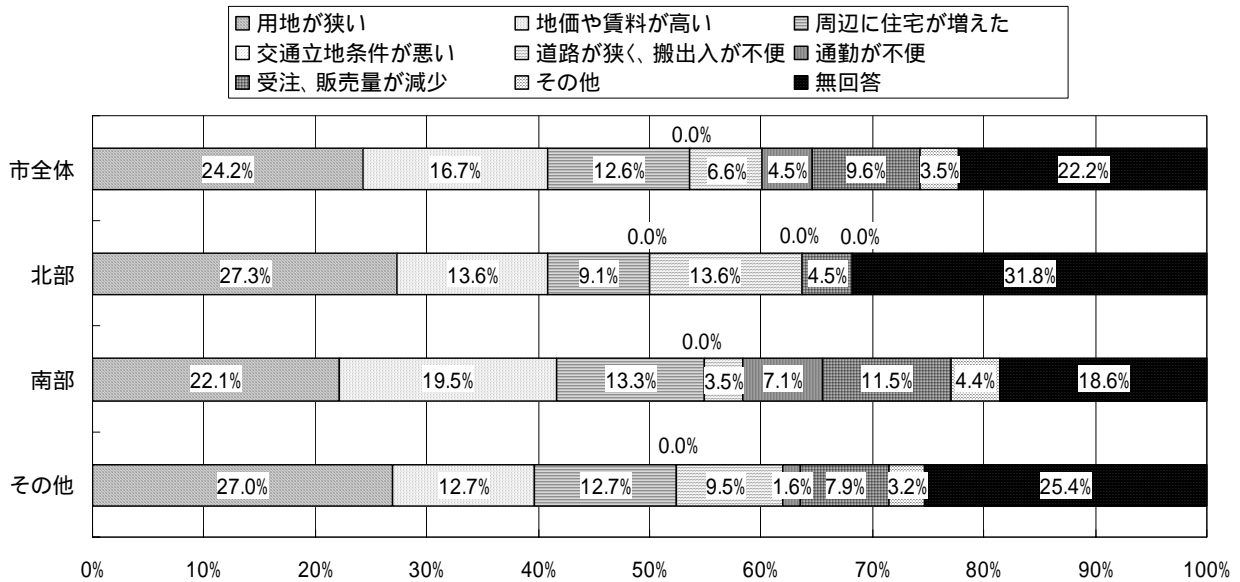


図2-37 移転理由の項目別事業所数(地域別)

工場の移転先(問8)

工場の移転先については、どの地域も市内を希望する事業所が半数以上を占めました。北部では、門真市を希望する事業所の比率が高い傾向が見られました。

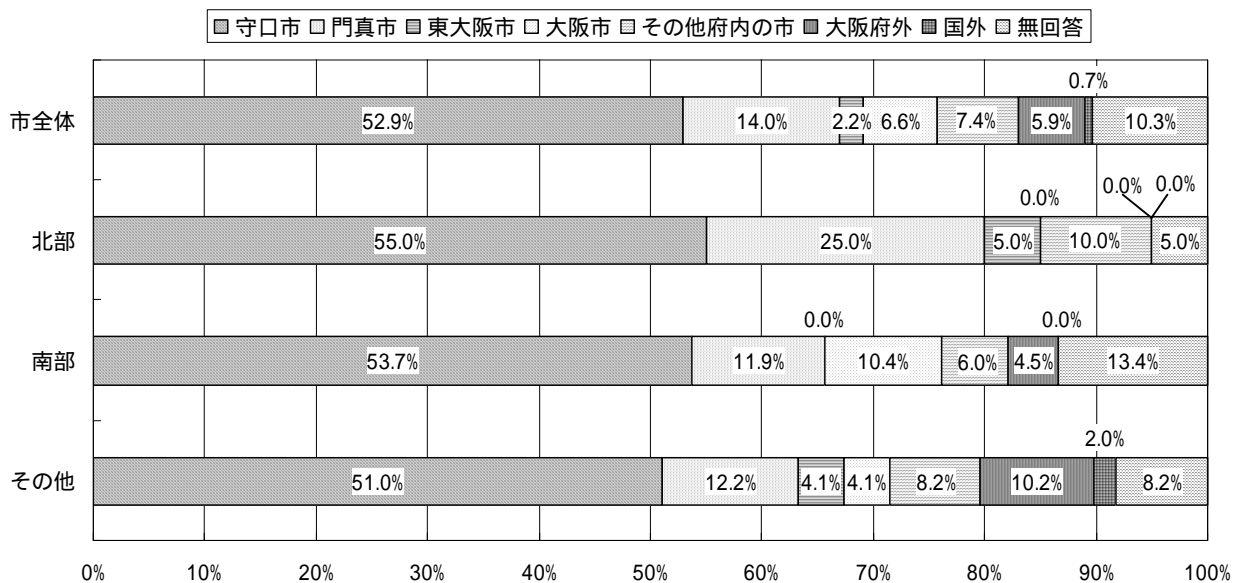


図2-38 移転先別事業所数(地域別)

工場移転先の理由(問8)

工場移転で求める移転先の理由については、市全体の出現比率と比較して地域別では次のことがわかりました。

- ・ 北部では「広い用地を確保できる」と「道路事情がよく、搬出入が便利」の比率が高い。
- ・ 南部では「通勤が便利」の比率が高い。
- ・ その他地域では「道路事情がよく、搬出入が便利」の比率が高い。

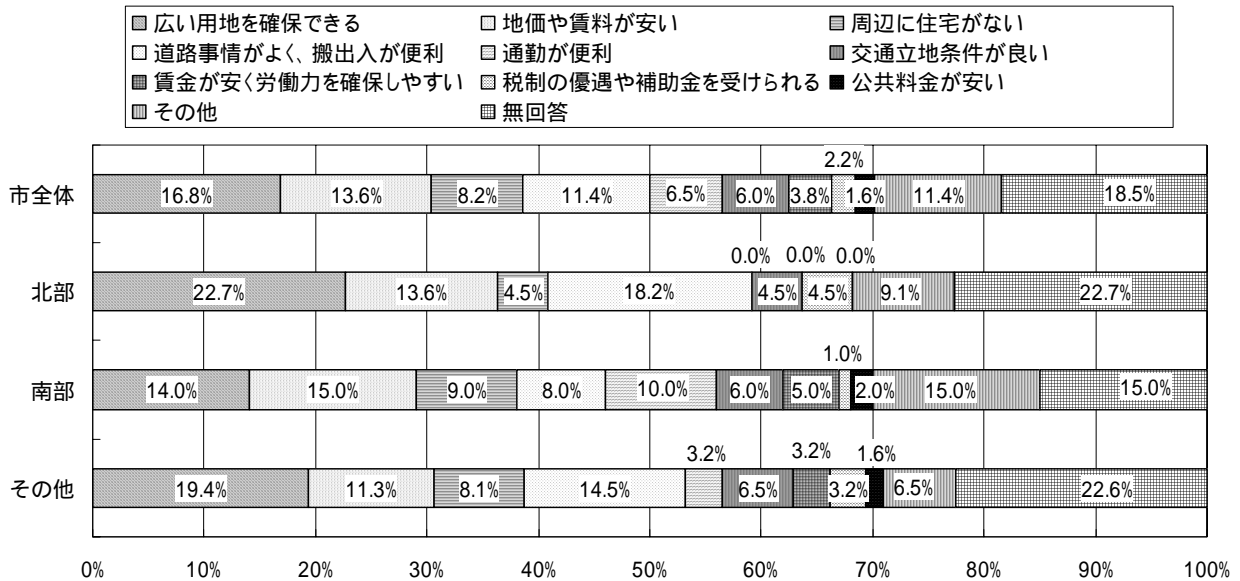


図2-39 移転先理由別事業所数(地域別)

工場跡地の処分(問8)

工場跡地の処分については、どの地域も「地主へ返却」が最も多い回答でした。北部とその他地域で「保有したまま他用途へ転換」の比率が高い傾向が見られました。

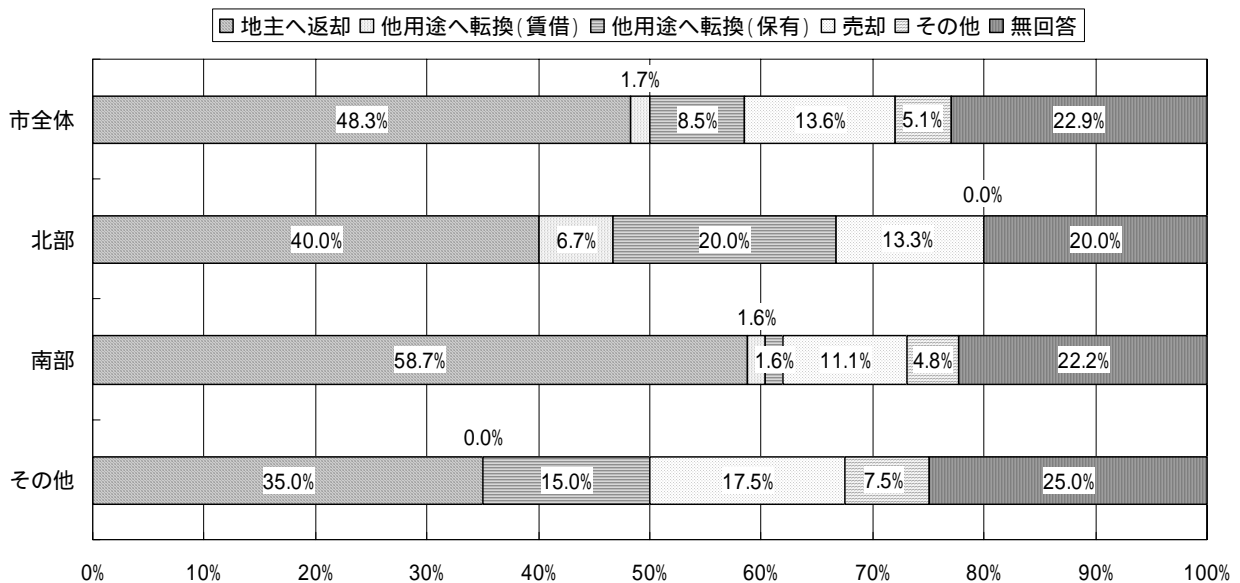


図2-40 跡地利用別事業所数(地域別)

3) クロス集計結果

(1) クロス集計について

工場移転を希望する事業所について、主な項目別にクロス集計を行いました。

(2) 移転希望事業所について

従業員人数別移転希望事業所

従業員人数別に工場移転を希望する事業所(「いい条件があれば考えてもよい」より右側の選択肢)を計測したところ、5～9人の事業所と10～49人の事業所が移転を希望する比率が高い傾向が見られました。

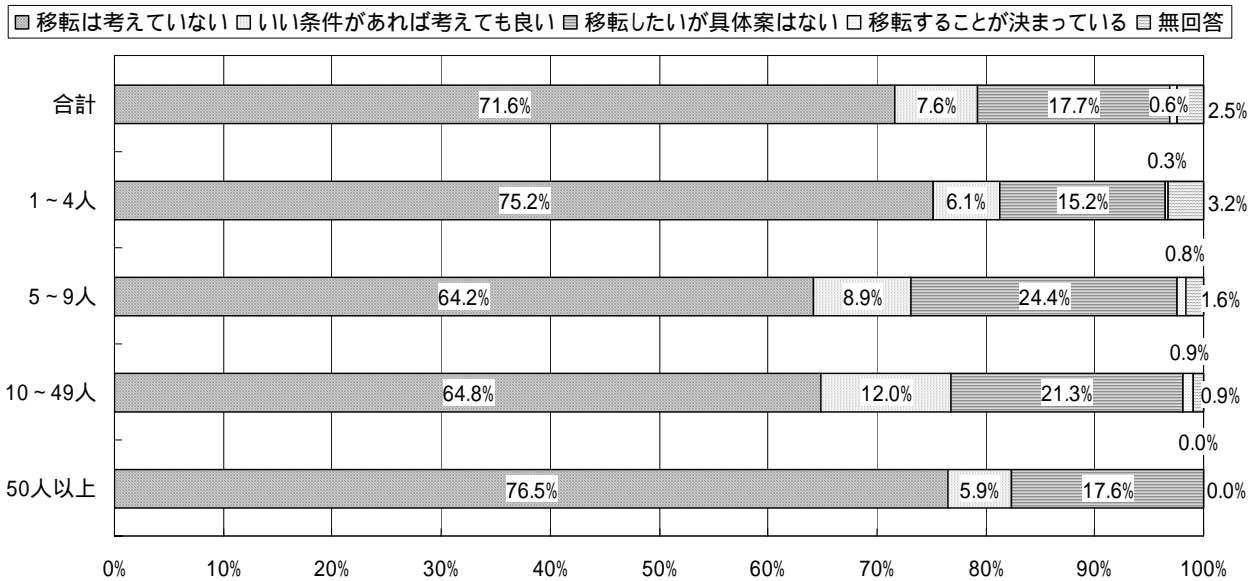


図2 - 41 従業員人数別移転希望事業所数

土地所有形態別移転希望事業所

土地所有形態別の工場移転を希望する事業所は、借地の事業所が所有の事業所よりも移転希望率が高い傾向が見られました。

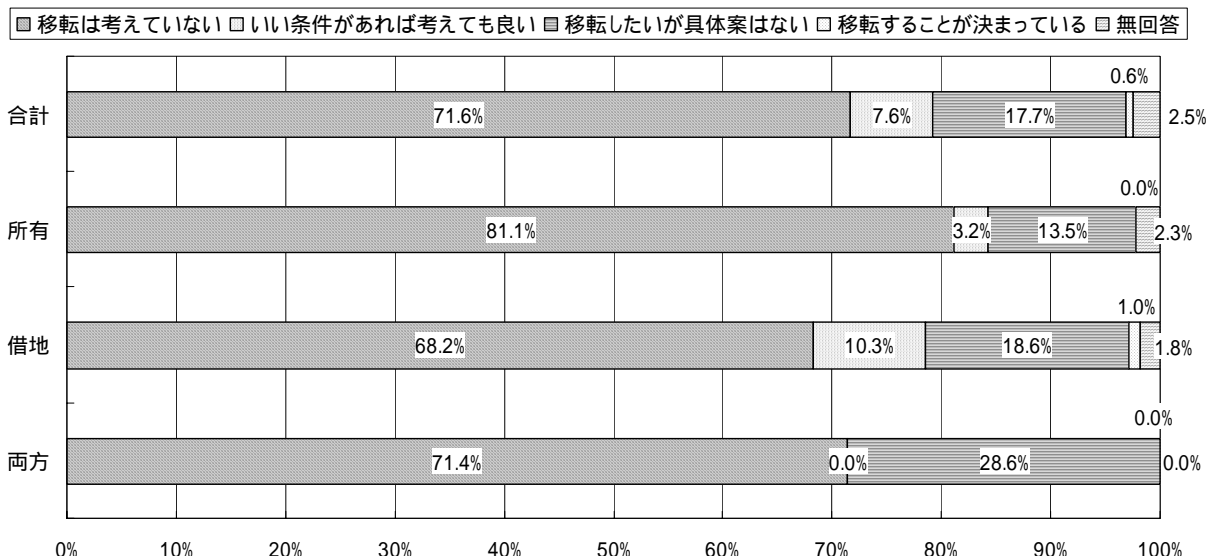


図2 - 42 土地所有形態別移転希望事業所数

建物所有形態別移転希望事業所

建物所有形態別の工場移転を希望する事業所は、賃貸の事業所が所有の事業所よりも移転希望率が高い傾向が見られました。

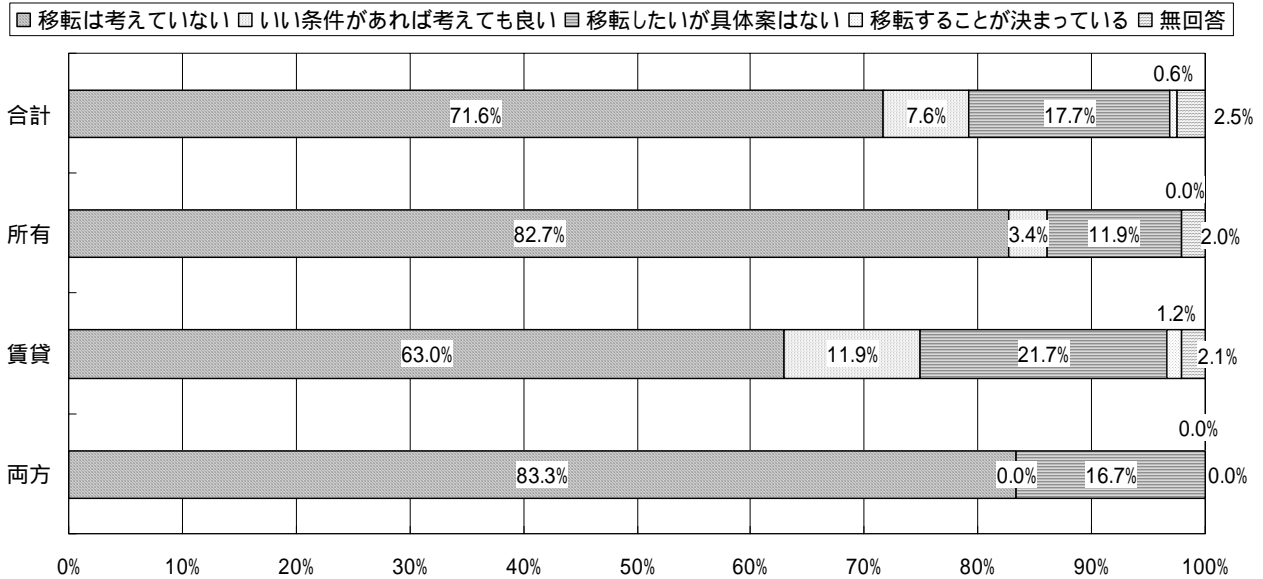


図 2 - 43 建物所有形態別移転希望事業所数

苦情の有無別移転希望事業所

周辺住民から苦情を受けた事業所は、受けていない事業所よりも移転希望率が高い傾向が見られました。

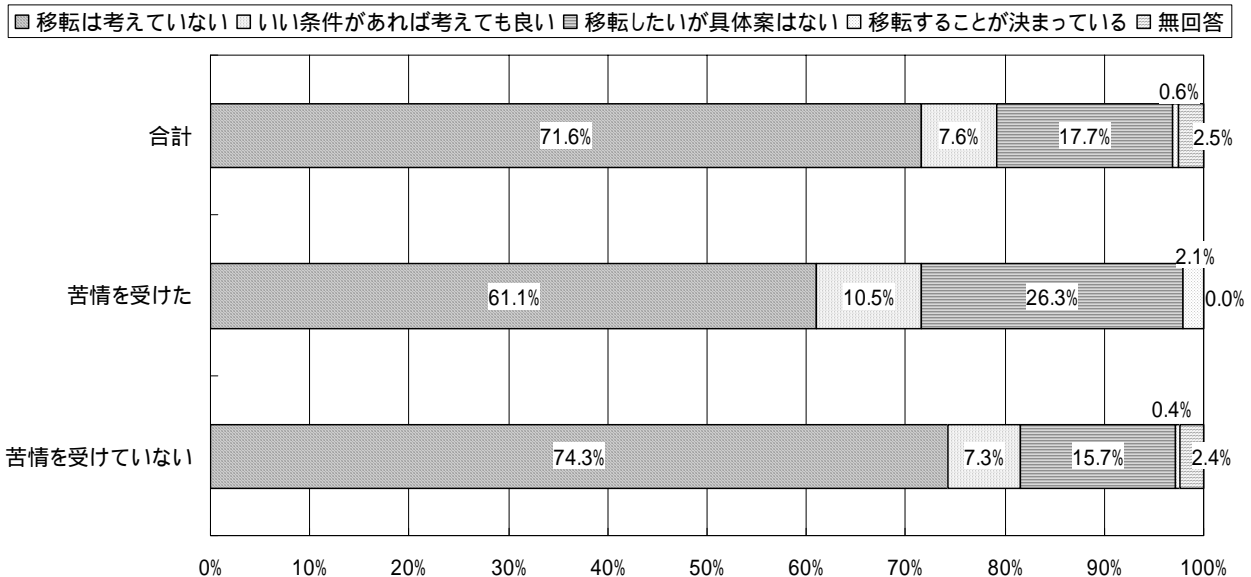


図 2 - 44 苦情の有無別移転希望事業所数

3. 住民アンケート調査の結果

1) 市全体についての調査結果

(1) 回答者の属性について

問 1 お住まいとご家族についておたずねします。
 ご住所の町名をお答えください。

住所 守口市 _____ 町通

回答者の住居地で最も多かったのは、南寺方東通で、ついで大日町でした。

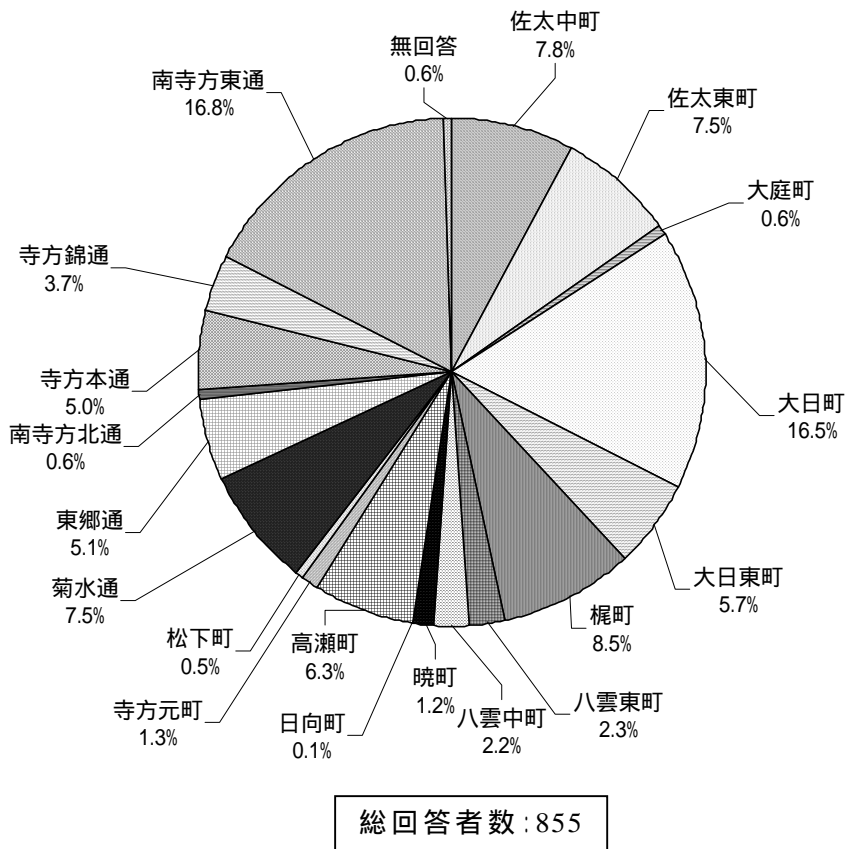


図3 - 1 町別回答者数

問 1 お住まいとご家族についておたずねします。
ご家族の人数を年代別にお答えください。

| 人数 | | 年代 | 0～10代 | 20～30代 | 40～50代 | 60～70代 | 80代以上 |
|----|---|----|-------|--------|--------|--------|-------|
| 人数 | 男 | | | | | | |
| | 女 | | | | | | |

回答者のご家族の人数を男女、年代別に集計しました。男女とも 60～70 代の方が最も多く居住されているという結果がでました。

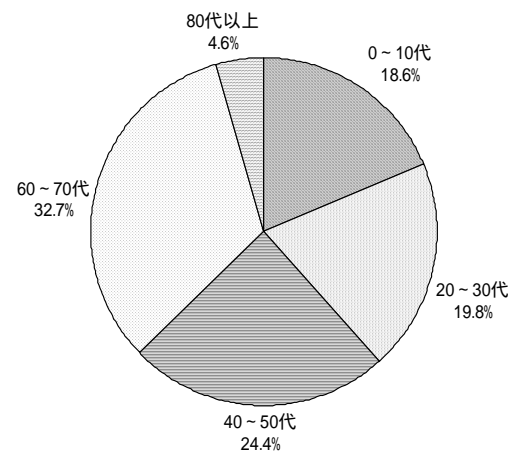
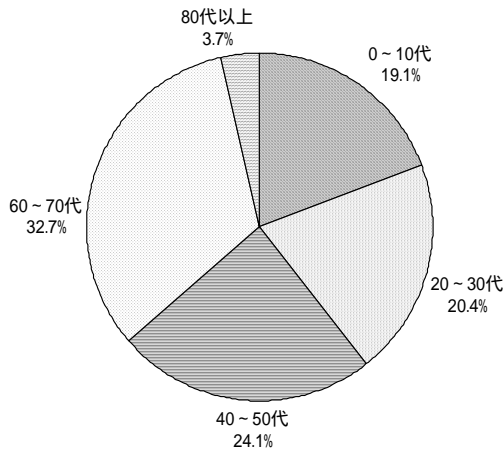
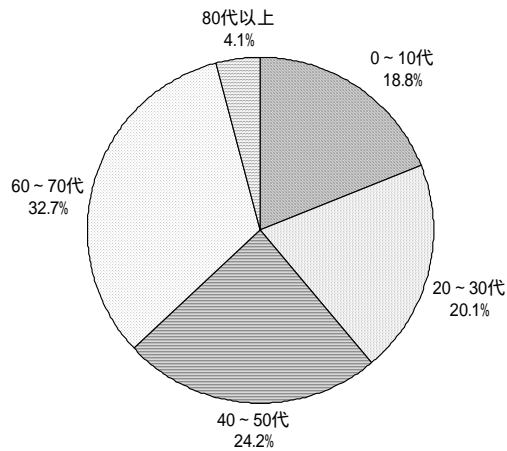


図3 - 2(1) 年代別回答者の家族(男)

図3 - 2(2) 年代別回答者の家族(女)



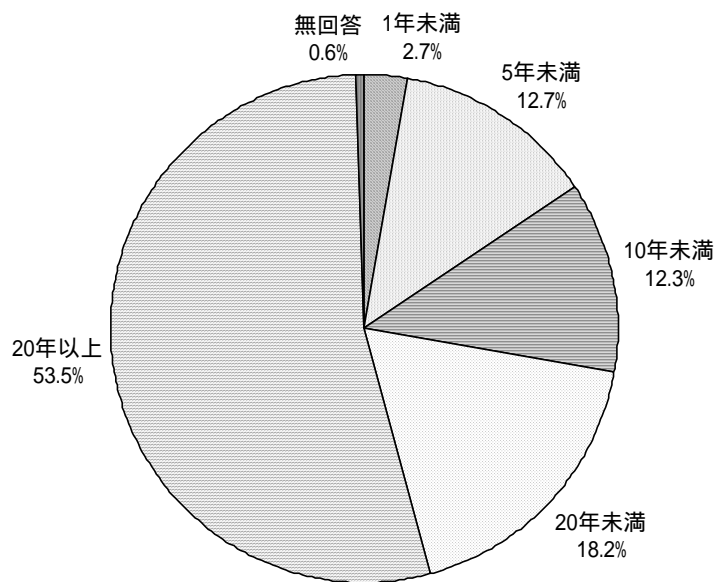
総回答者数：855

図3 - 2(3) 年代別回答者の家族(合計)

問 1 お住まいとご家族についておたずねします。
今の場所にお住まいになって何年になりますか。該当する番号を1つ選び、で囲んでください。

1. 1年未満 2. 5年未満 3. 10年未満 4. 20年未満 5. 20年以上

居住年数に関しては、20年以上現在の住居に住んでいる回答者が53.5%を占めています。



総回答者数: 855

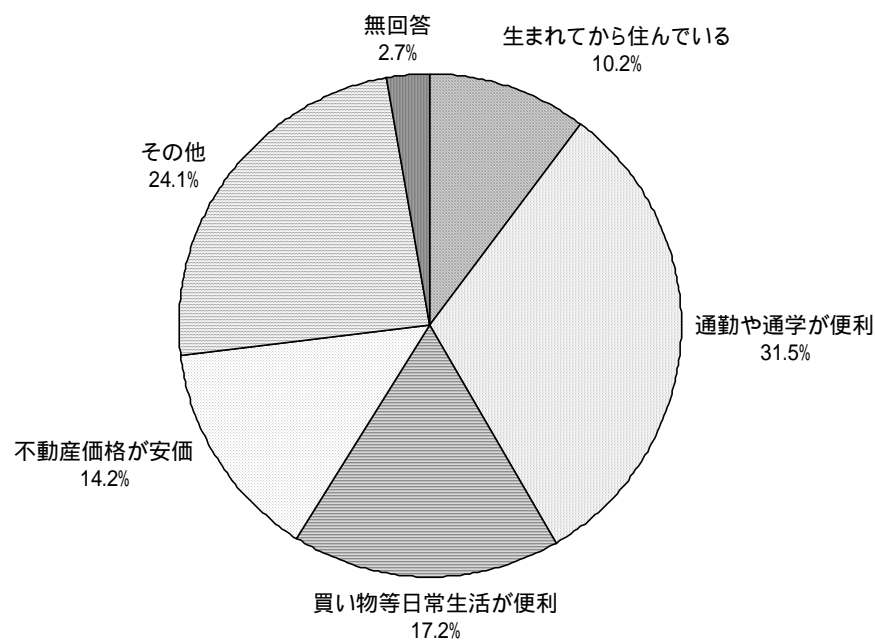
図3 - 3 居住年数別回答者数

問 1 お住まいとご家族についておたずねします。

今、お住まいになっている場所に移られた理由は何ですか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください(複数回答も集計)。

1. 生まれてから住んでいる
2. 通勤や通学が便利(職場や学校が近い)
3. 買い物等日常生活が便利
4. 不動産価格が安価
5. その他(具体的に: _____)

お住まいの理由で最も多いものは、「通勤や通学が便利」で 31.5%でした。ついで「買い物等日常生活が便利」が 17.2%でした。その他の回答の主なものは、「実家が近い」「結婚により」「相続により」などでした。



総回答数: 882 (複数回答)

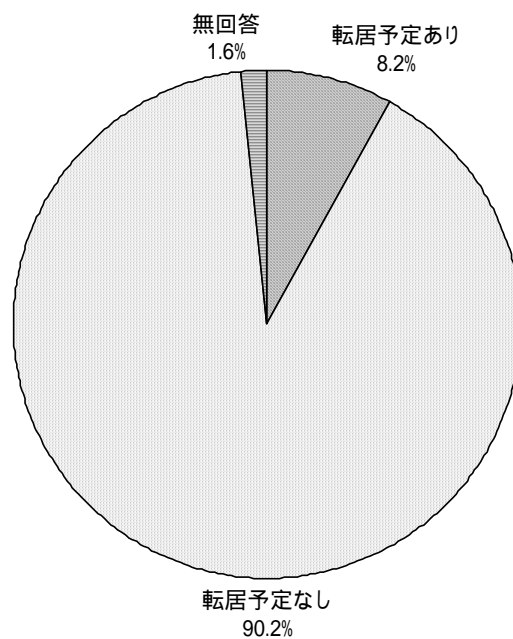
図3 - 4 お住まいの理由別回答者数

問 1 お住まいとご家族についておたずねします。
近い将来(5年以内)、転居の予定はありますか。

1. ある

2. ない

近い将来(5年以内)に転居の予定がある回答者は10%未満で、ほとんどの回答者は今後も住み続けると回答されました。



総回答者数:855

図3 - 5 転居の予定別回答者数

(2) 周辺の住環境について

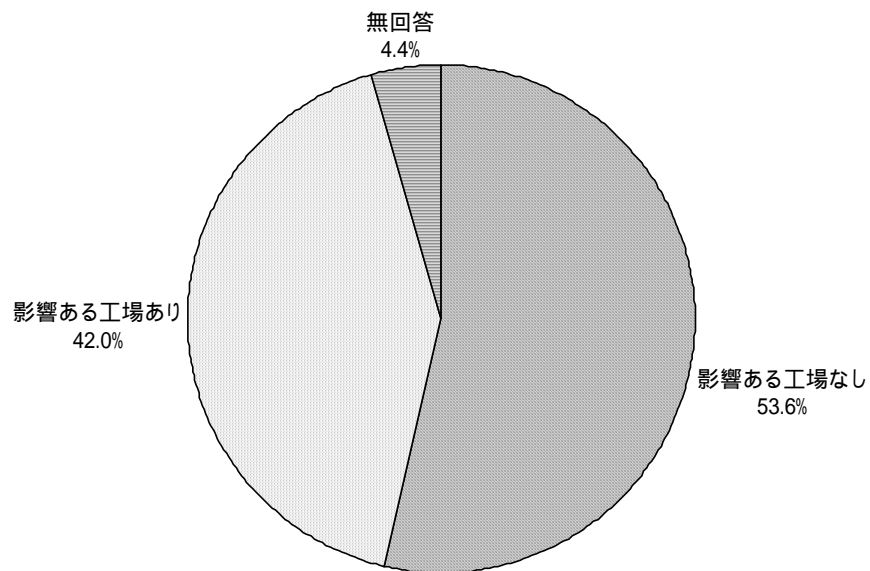
問 2 お住まい周辺の住環境についておたずねします。

-1 お住まいの周辺には住環境に影響を及ぼす工場がありますか。該当する番号を1つ
選び、 で囲んでください。

1. ない

2. ある

お住まいの周辺に住環境に影響を及ぼす工場があるかどうかについては、「影響あ
る工場なし」が 53.6%でしたが、「影響ある工場あり」は 42.0%ありました。



総回答者数 : 855

図3 - 6 影響ある工場の有無別回答者数

問 2 お住まい周辺の住環境についておたずねします。

-2 お住まいの周辺の住環境に影響を及ぼす工場の項目は何ですか。下記の該当する番号をすべて選び、で囲んでください(-1 で「ある」人のみ回答)。

- 1. 騒音
- 2. 悪臭
- 3. 振動
- 4. 日あたり
- 5. 景観
- 6. 交通(道路をふさぐ等)
- 7. その他(具体的に: _____)

住環境に影響を及ぼす項目で最も多かった項目は「騒音」が 209 件で、ついで「交通(道路をふさぐ等)」が 143 件、「振動」が 113 件でした。その他の回答としては、「粉塵・空気汚染」「動・植物の害」に関する回答が寄せられました。

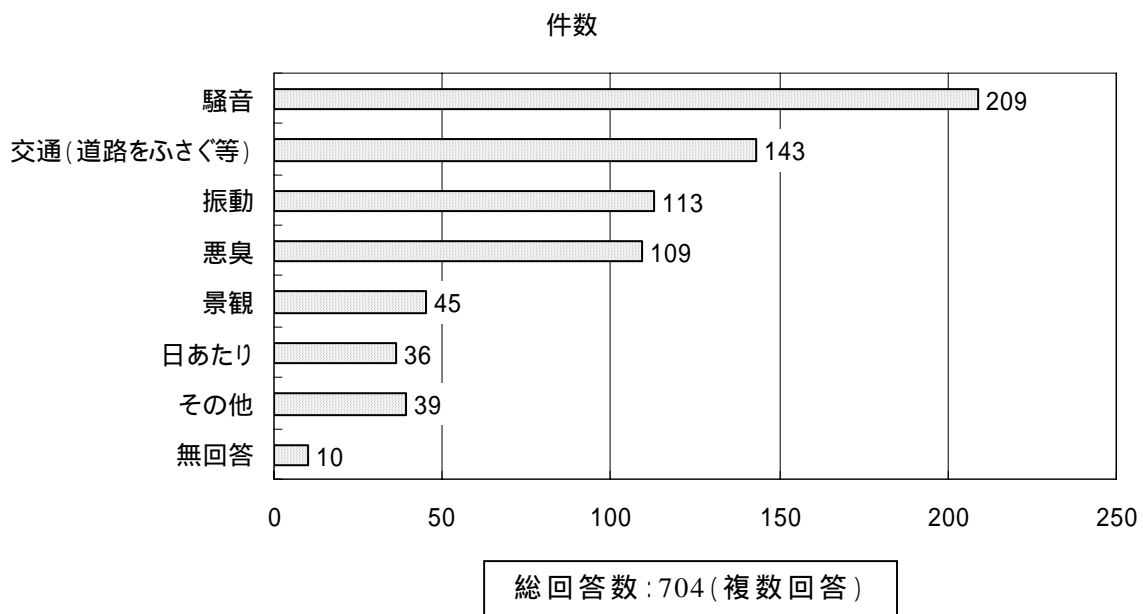


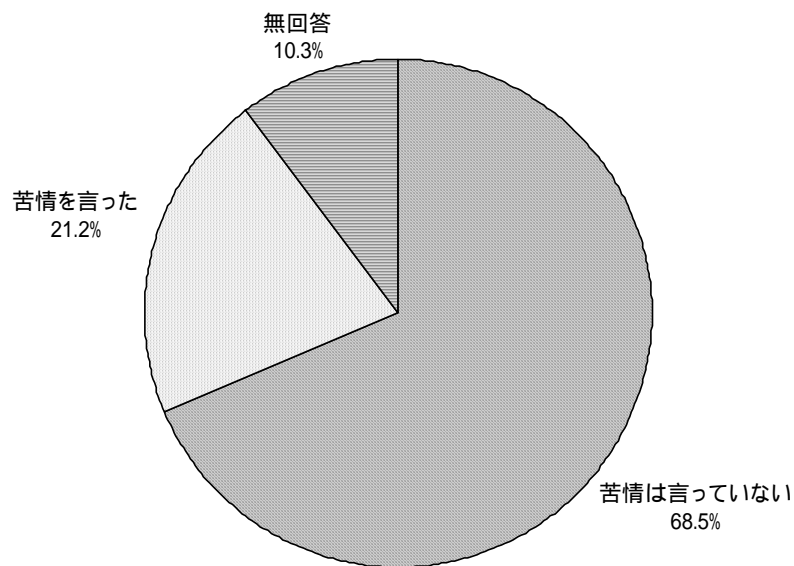
図 3 - 7 影響がある項目別件数

問 2 お住まい周辺の住環境についておたずねします。
住環境への影響について、工場などに苦情を言われたことがありますか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください(-1で「ある」人のみ回答)。

1. 苦情は言っていない
2. 苦情を言った(どこに言われましたか: _____)

「住環境への影響がある」と回答された方のなかで、苦情を言った経験がある回答者は、21.2%ありました。苦情を言った先は当該工場が最も多く36件、ついで市役所が15件でした。

多くの方は苦情を言った経験はありませんでした。



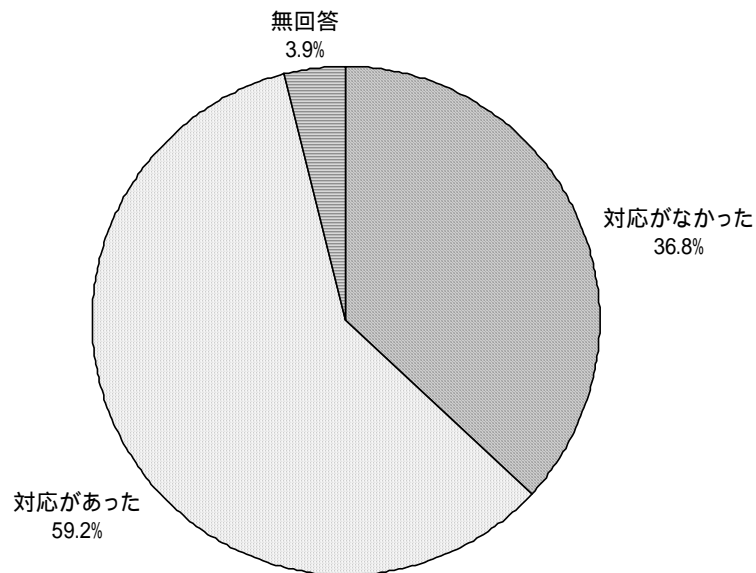
総回答者数:359

図3 - 8 苦情の経験別回答者数

問 2 お住まい周辺の住環境についておたずねします。
 苦情に対して、何か対応がありましたか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください(で「苦情を言った」人のみ回答)。

1. 対応がなかった
 2. 対応があった(具体的に: _____)

苦情に対して、対応の有無を尋ねたところ「対応があった」回答者が 59.2%(45 件) ありました。対応の内容は、「苦情に対して改善された」という回答が 25 件あり、そのほかには、「一時良くなったが、元に戻った」という回答も少数ありました。



総回答者数 : 76

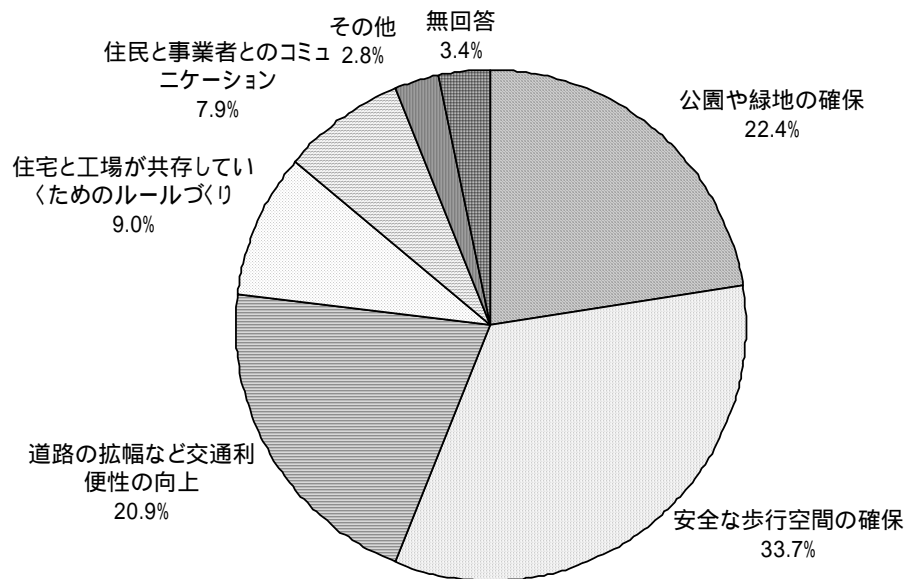
図3 - 9 苦情の対応別回答者数

問 4 あなたの周辺の住環境の維持・向上を図るために必要と思われることは何ですか。
該当する番号をすべて選び、 で囲んでください。

1. 公園や緑地の確保
2. 安全な歩行空間の確保
3. 道路の拡幅など、交通利便性の向上
4. 住宅と工場が共存していくためのルールづくり
(具体的に: _____)
5. 住民と事業者とのコミュニケーション
6. その他
(具体的に: _____)

住環境の維持・向上を図るために必要と思われる項目については、「安全な歩行空間の確保」が最も多く 33.7%、ついで「公園や緑地の確保」が 22.4%、「道路の拡幅など、交通利便性の向上」が 20.9%でした。

その他の回答の主なものは、「街灯や防犯」、「社員のモラル」に関するものでした。



総回答数: 1741 (複数回答)

図3 - 10 住環境の向上項目別回答者数

「住宅と工場が共存していくためのルールづくり」と回答された方の具体的内容は、「就業時間」に関してが 36 件、「道路・交通」に関してが 16 件、「騒音」に関してが 9 件ありました。

その他の回答には、「住工分離」「社員の気配り」に関する回答がありました。

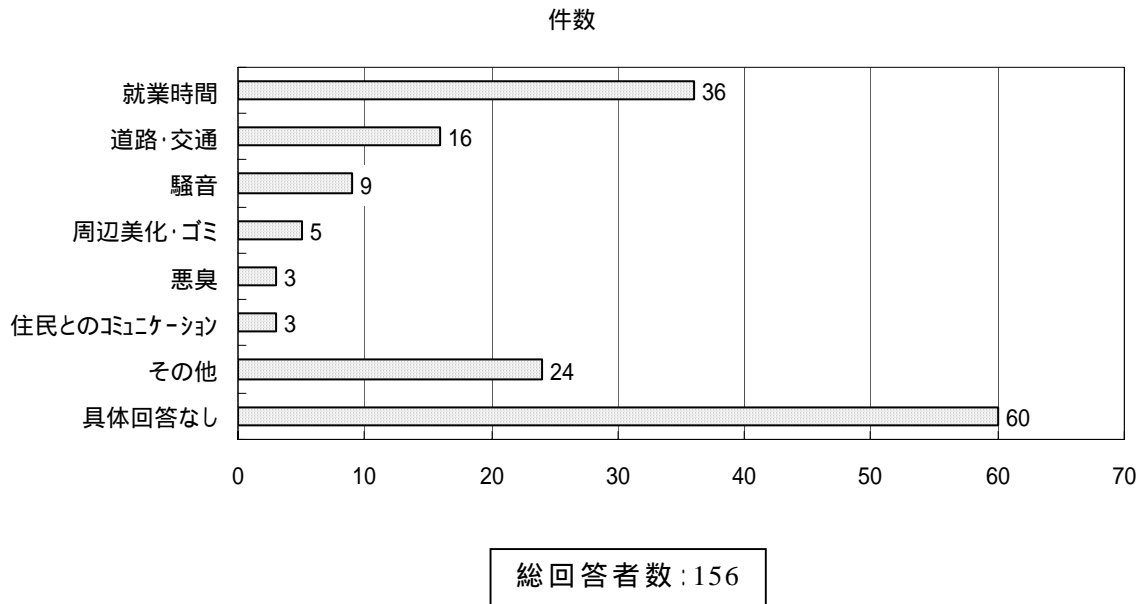


図 3 - 11 住民と工場が共存していくためのルールづくりの項目別件数

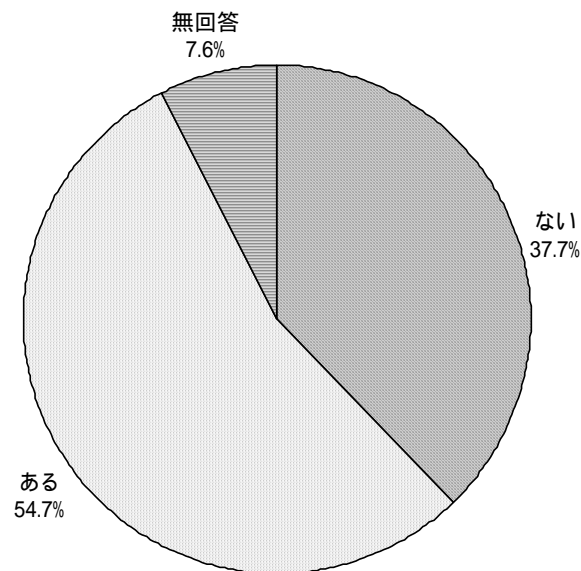
(3) 周辺の工場について

問 3 あなたの周辺の工場についておたずねします。

-1 工場が操業するにあたって、配慮してもらいたいことはありますか。該当する番号を1つ選び、 で囲んでください。

1. ない 2. ある

工場が操業するにあたって、配慮の必要性の有無を質問したところ、「ある」と回答された方が 54.7%と半数を超えました。



総回答者数 : 855

図3 - 12 配慮の必要性の有無別回答者数

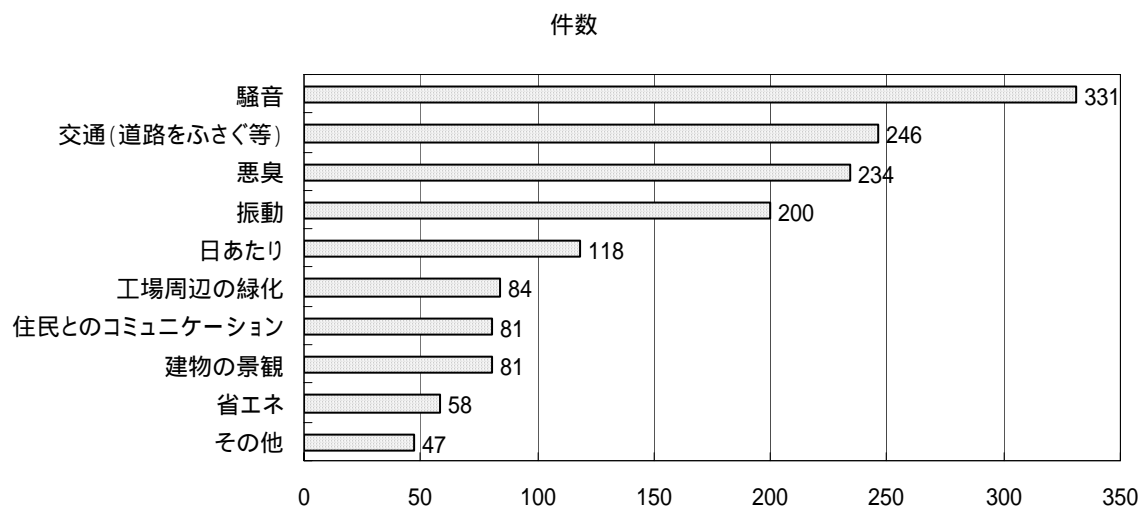
問 3 あなたの周辺の工場についておたずねします。

-2 工場が操業するにあたって、配慮してもらいたい項目は何ですか。下記の該当する番号をすべて選び、で囲んでください(-1 で「ある」人のみ回答)。

- 1. 騒音
- 2. 悪臭
- 3. 振動
- 4. 日あたり
- 5. 建物の景観
- 6. 交通(道路をふさぐ等)
- 7. 工場周辺の緑化
- 8. 住民とのコミュニケーション
- 9. 省エネ・リサイクル等地球環境への配慮
- 10. その他(具体的に: _____)

工場が操業するにあたって、配慮してもらいたい項目を質問したところ、「騒音」が最も多く331件、ついで「交通(道路をふさぐ)」が246件、「悪臭」が234件でした。

その他の回答の主なものは、「ゴミや清掃」「社員教育」に関するものでした。



総回答数:1480(複数回答)

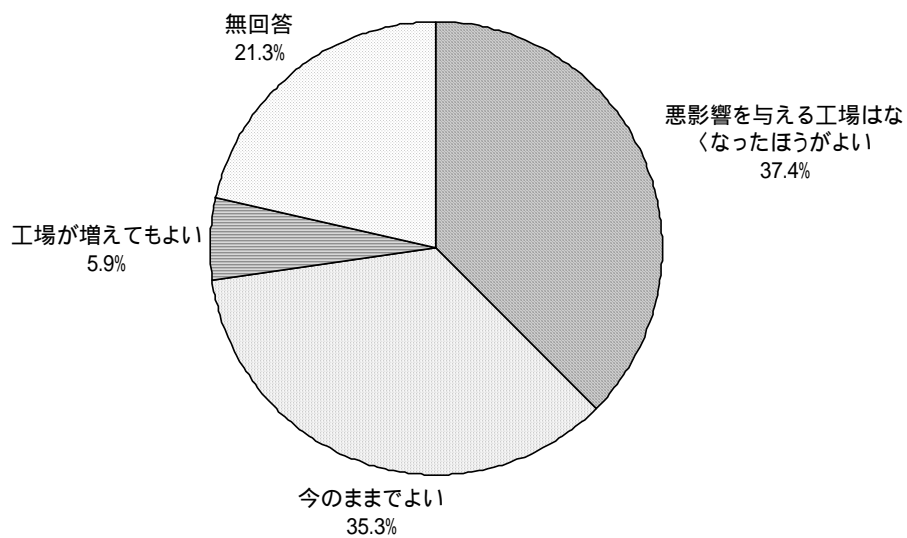
図3-13 配慮してほしい項目別件数

問 3 あなたの周辺の工場についておたずねします。

周辺に工場があることをどう思っていますか。該当する番号を1つ選び、で囲んでください(複数回答も集計)。

1. 悪影響を与える工場はなくなった方がよい
2. 今のままでよい
3. 工場が増えてもよい

周辺の工場について質問したところ、「今のままでよい」と「工場が増えてもよい」と回答された方が「悪影響を与える工場はなくなった方がよい」と回答された方を上回りました。



総回答数: 858 (複数回答)

図3 - 14 工場があることの感想別回答者数

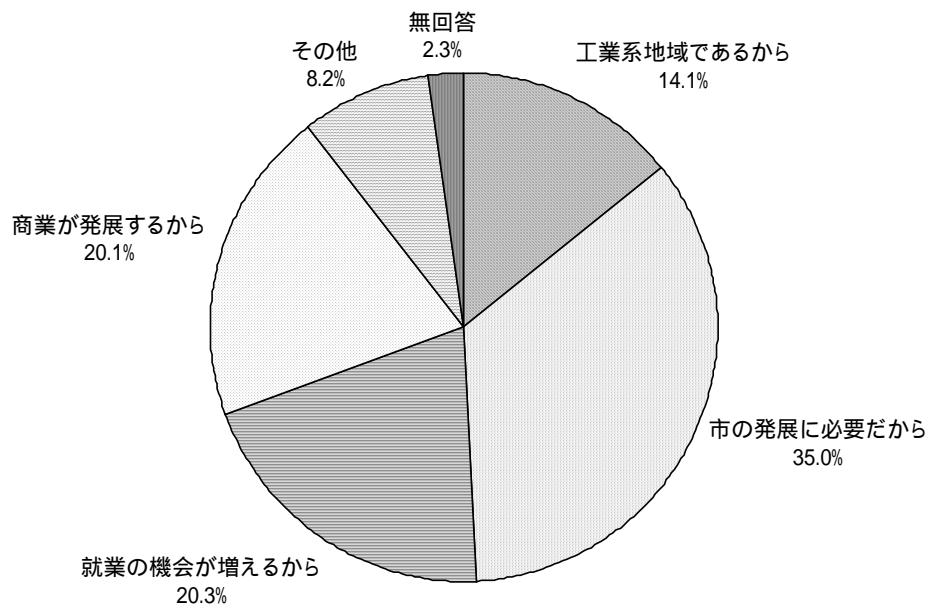
問 3 あなたの周辺の工場についておたずねします。

「工場があってもよい」と考えられた理由は何ですか。該当する番号をすべて選び、で囲んでください(で「今のまま」か「増えてもよい」人のみ回答)。

1. 工業系地域であるから
2. 工場は守口市の発展に必要なだから
3. 就業の機会が増えるから
4. 人が集まり、それにより商業が発展するから
5. その他(具体的に: _____)

「工場が今のままか増えてもよい」と回答された理由を質問したところ、「守口市の発展に必要なだから」と回答された方が最も多く 35.0%、ついで「就業の機会が増えるから」が 20.3%、「商業が発展するから」が 20.1%でした。

その他の回答で主なものは、「現在は影響を感じていない」「引越し以前から工場があった」などでした。



総回答数: 622 (複数回答)

図3 - 15 工場があってもよい理由別回答数

(4)自由意見

問 5 産業振興について、守口市へご意見がございましたら、自由にご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

守口市への自由意見は、242 件のご意見が寄せられました。その中では、「道路・交通」、「住環境の向上」、「景気回復」に関するご意見を多くいただきました。

表3 - 1 住民からのご意見(一部)

| 内 容 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工場地帯では道路幅を広くして、歩行者や自転車利用者の安全を図ってほしい。大企業を誘致するためにも道路の拡幅が必要だと思う。 |
| 環境についてもっとしっかり取り組んでほしい。騒音も規制があるはずだが、守られていない。産業の振興より先ず住環境に配慮すべきだ。早急になんとかしてもらいたい。 |
| 商店街の活性化を計画し、品位の高い町作りに力を入れてほしい。導線を考えたモールの様な商店街を作り、人を呼び、目玉となるお店に出店を呼びかける。そういったモールを市が運営することを考えてはどうか。同時に地域産業の工業商品の企画開発をし、モールにて販売するなどアンテナショップも加えれば、地域産業も活性化できると思う。 |
| 最近、空き工場が増えているので、防犯上心配である。 |
| 遊歩道とか歩いていると、工場のまわりが汚いと感じています。地域の方達と一緒に清掃するとか、地域の行事などに参加するとか何か対策が必要と思います。ここに住んでいないから関係ないと思うような考えはやめてほしいです。 |
| 守口の財政を豊かにするためにも、産業の発展は不可欠だと思います。しかし、産業振興を優先すると、子供達や体の不自由な方、お年寄りの方などの安全面において、問題が増えることになると思われます。様々な問題がありなかなか難しいと思いますが、あらゆる立場の人に優しく安全な街づくりを願います。 |

2) 地域別についての調査結果

(1) 地域割りについて

地域特性を把握するため、アンケート対象者を工業地域周辺の北部と南部の2地域に分割しました。地域割り図を以下に示しました。

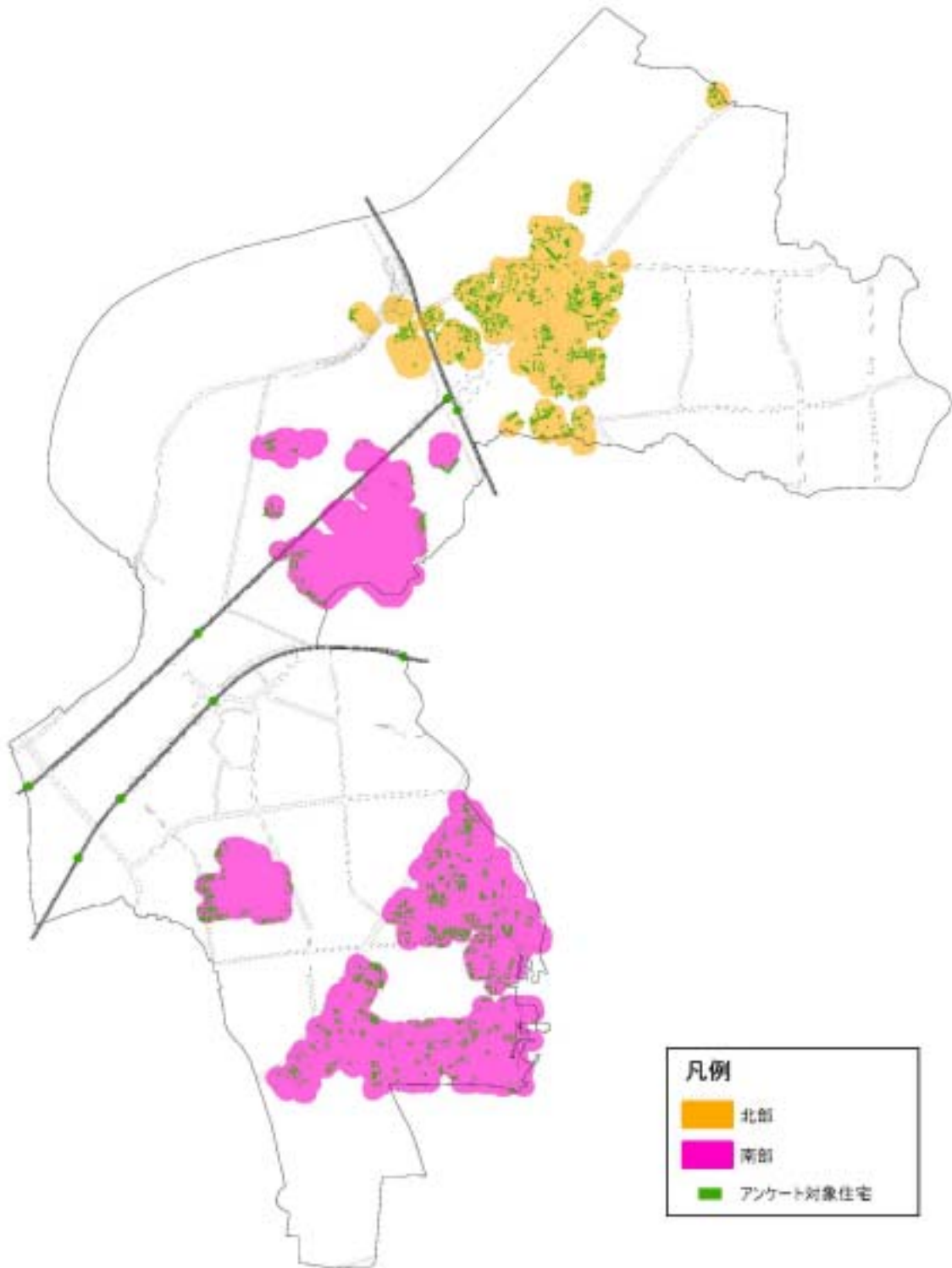


図3 - 16 住民アンケート地域割り図

(2) 回答者の属性について

年代別人数(問1)

回答者のご家族の年代別人数については、北部で60～70代の方の比率がより高い傾向が見られました。

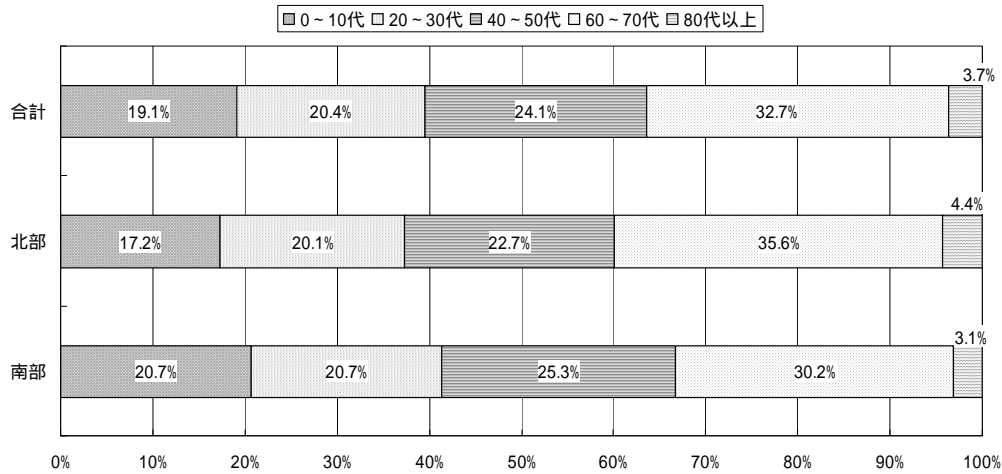


図3 - 17(1) 年代別回答者の家族(男)(地域別)

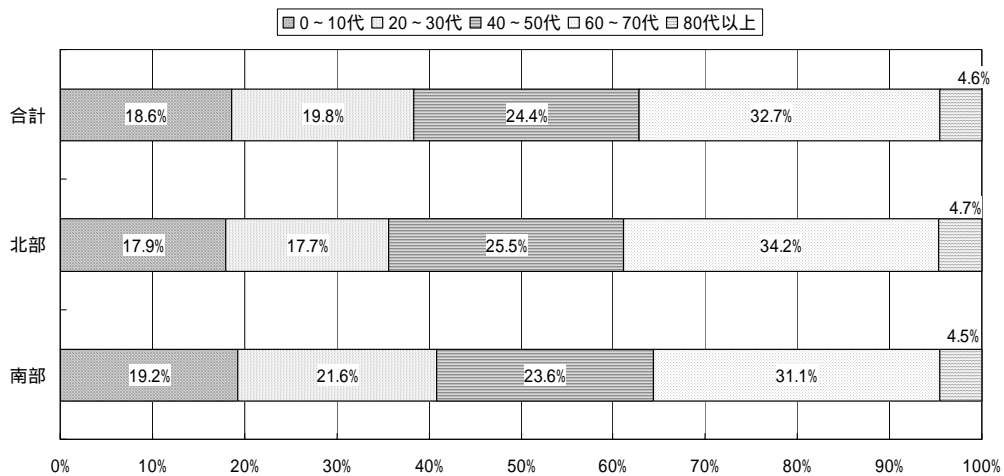


図3 - 17(2) 年代別回答者の家族(女)(地域別)

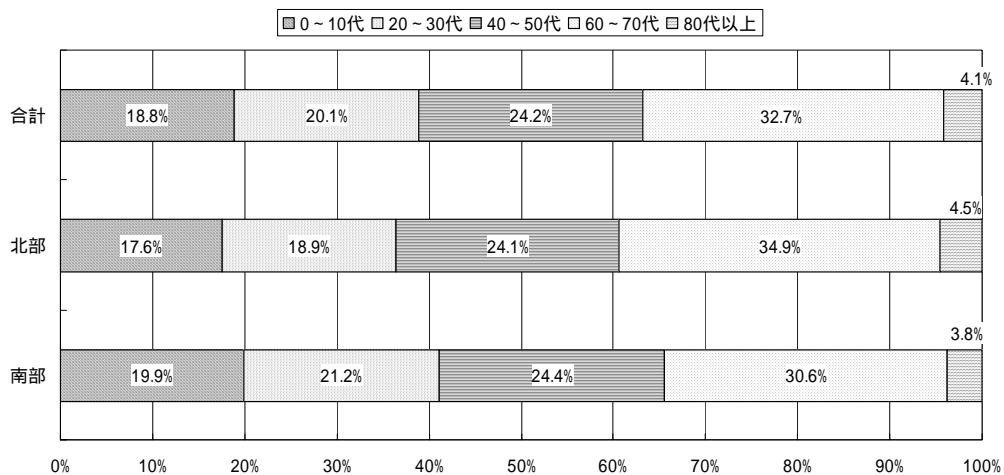


図3 - 17(3) 年代別回答者の家族(合計)(地域別)

居住年数(問1)

住居年数については、北部で20年以上の回答者の比率がより高い傾向が見られました。

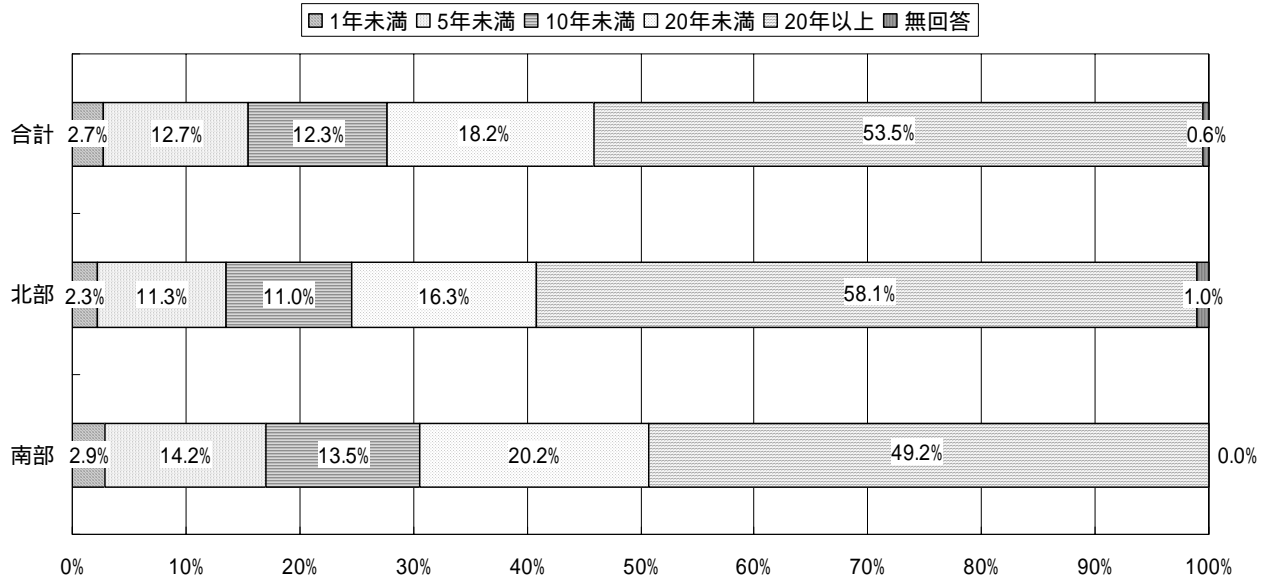


図3-18 居住年数別回答者数(地域別)

お住まいの理由(問1)

お住まいの理由については、どちらの地域も「通勤や通学が便利」が最も多く、地域別での特徴は見られませんでした。

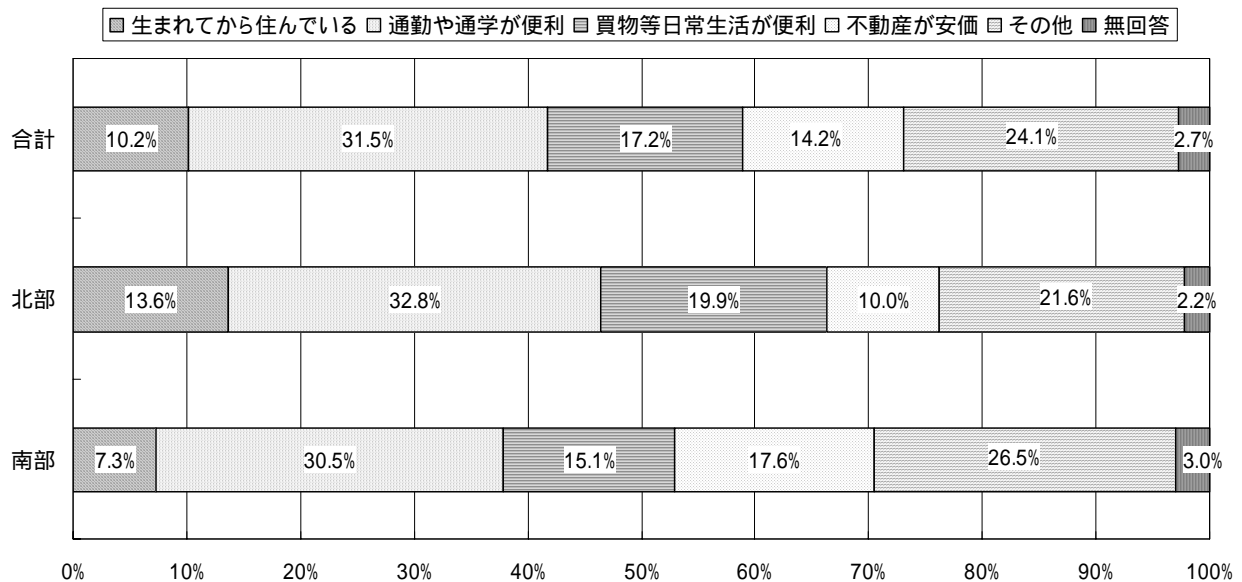


図3-19 お住まいの理由別回答者数(地域別)

転居の予定(問1)

近い将来(5年以内)の転居予定の有無については、どちらの地域でも「転居予定なし」の回答者が90%前後で、地域別の特徴は見られませんでした。

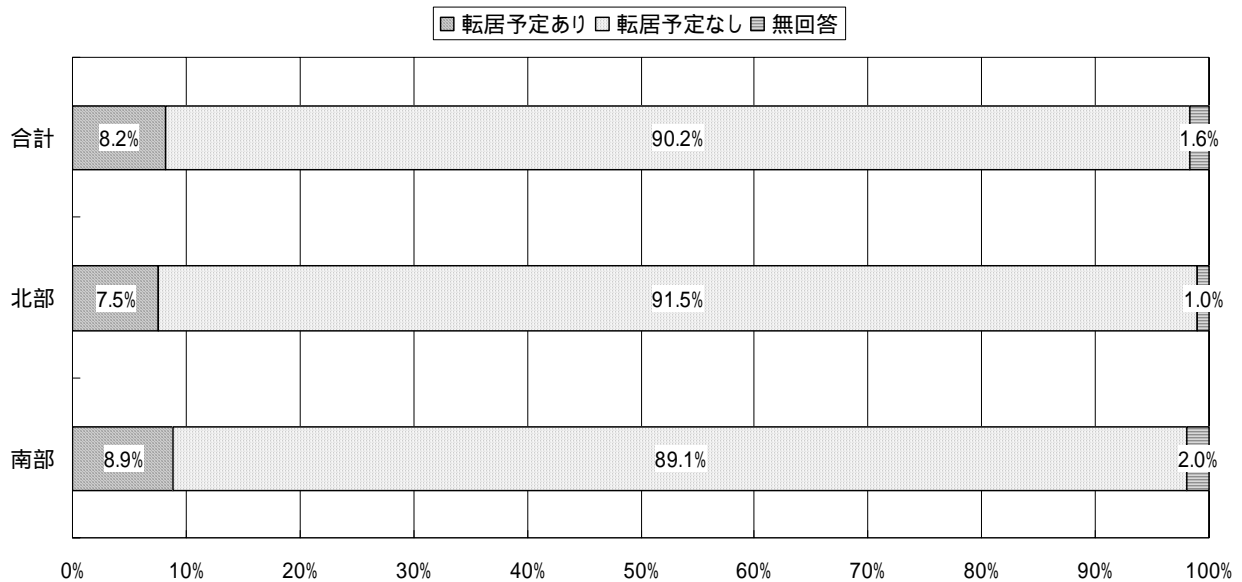


図3-20 転居の予定別回答者数(地域別)

(3) 周辺の住環境について

住環境に影響を及ぼす工場の有無(問2-1)

住環境に影響を及ぼす工場の有無については、南部で「影響ある工場あり」の回答者の比率が高い傾向が見られました。

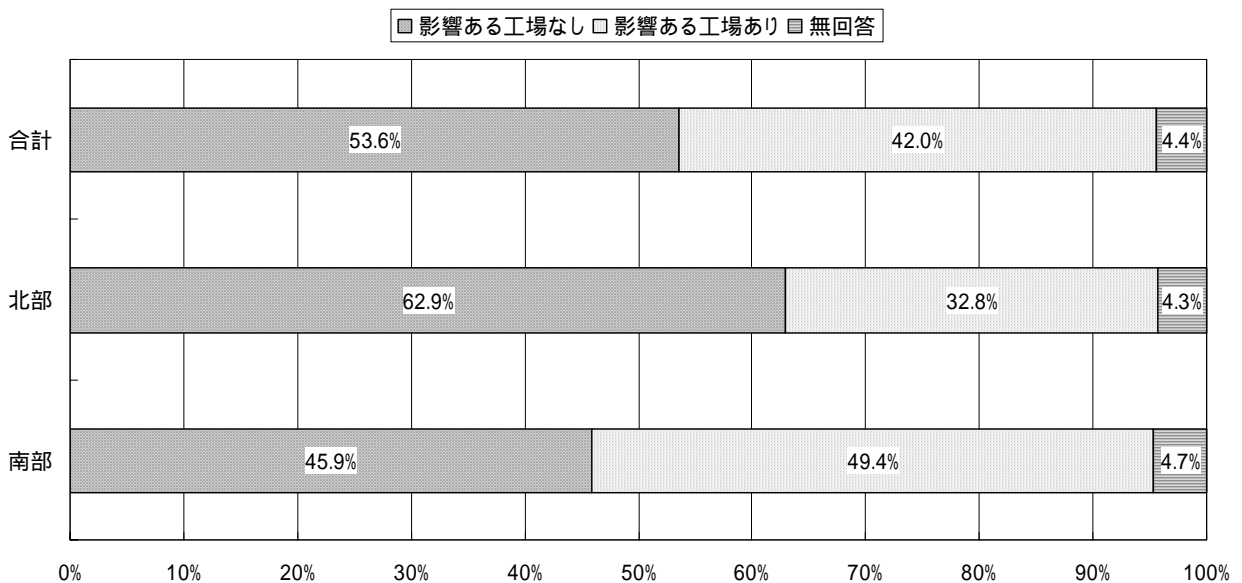


図3-21 影響ある工場の有無別回答者数(地域別)

影響を及ぼす項目(問2 -2)

住環境に影響を及ぼす項目については、どちらの地域でも「騒音」が最も多い項目でした。北部で「振動」の比率がやや高い傾向が見られました。

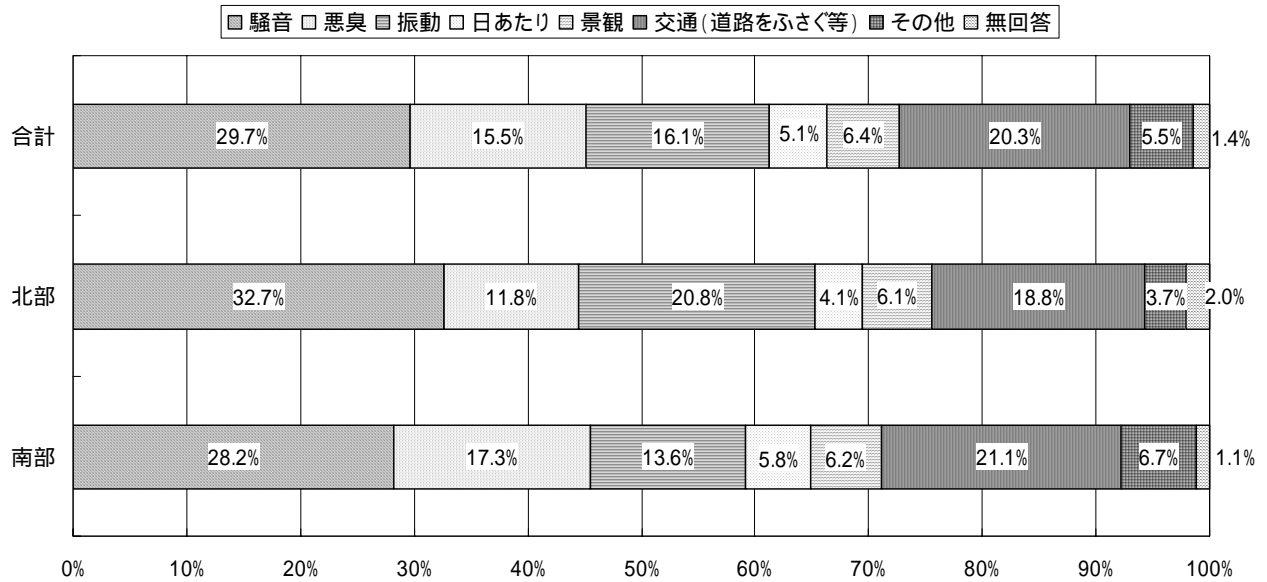


図3 - 22 影響がある項目別回答者数(地域別)

苦情の経験(問2)

苦情の経験については、南部で「苦情を言った」回答者の比率がやや高い傾向が見られました。

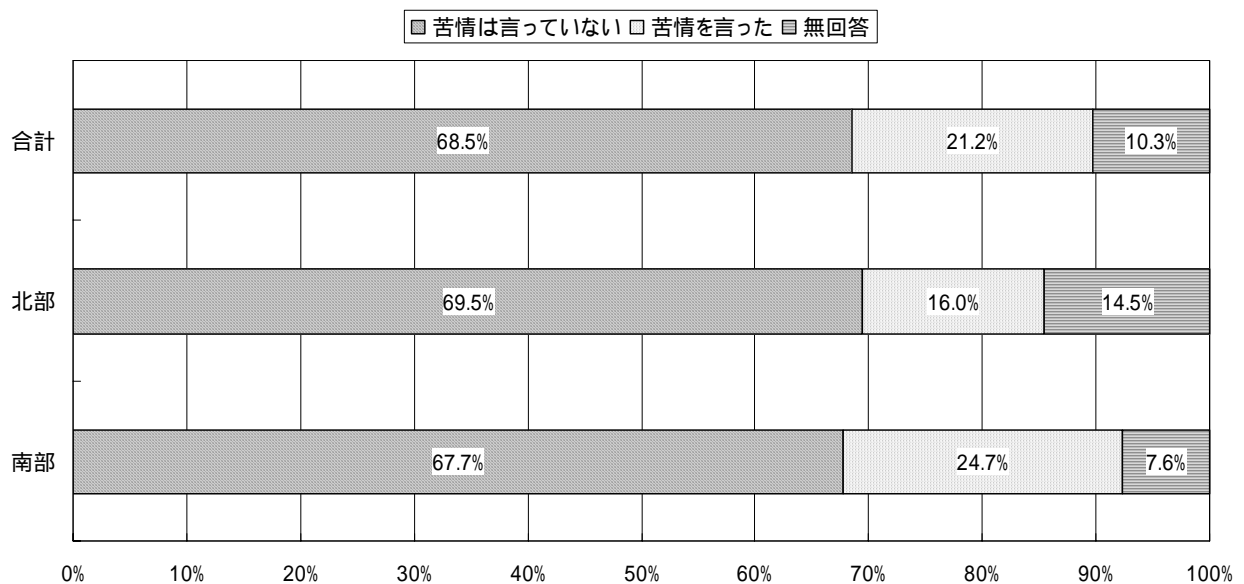


図3 - 23 苦情の経験別回答者数(地域別)

対応の有無(問2)

苦情に対しての対応の有無については、「対応があった」回答者が半数以上あり、地域別の特徴は見られませんでした。

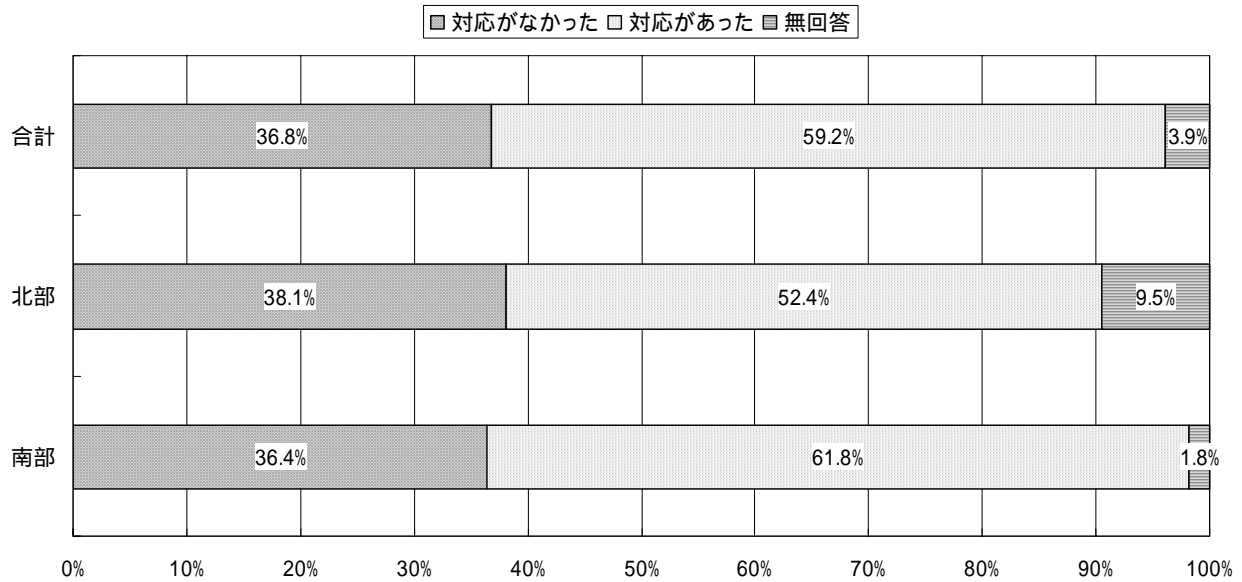


図3-24 苦情の対応別回答者数(地域別)

住環境の向上(問4)

住環境の向上に必要な項目については、「安全な歩行空間の確保」がどちらの地域でも最も多く、北部では「道路の拡幅など交通利便性の向上」の比率が南部より高い傾向が見られました。

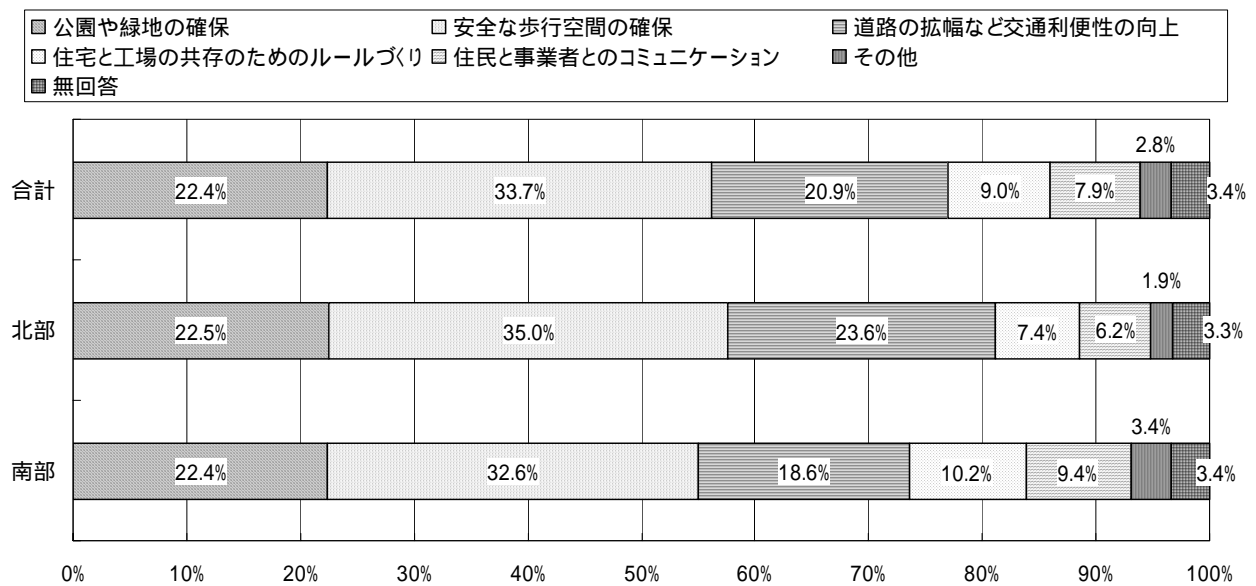


図3-25 住環境の向上項目別回答者数(地域別)

(4) 周辺の工場について

配慮の必要性(問3 -1)

周辺の工場が操業するにあたって、南部では配慮が必要であるとする比率が高い傾向が見られました。

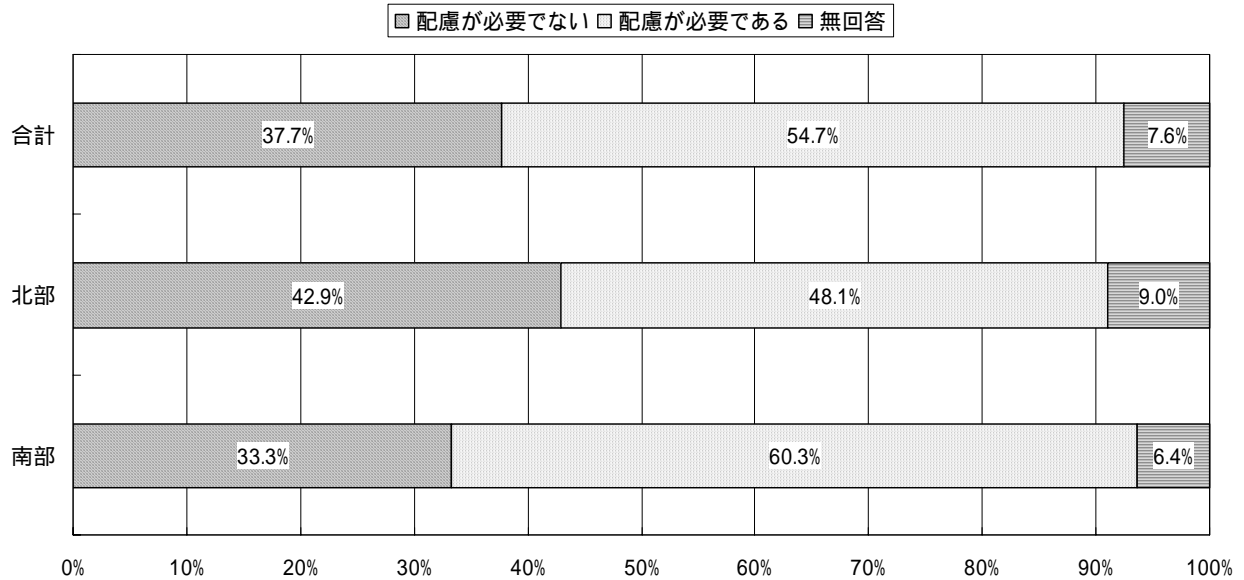


図3 - 26 配慮の必要性の有無別回答者数(地域別)

配慮がほしい項目(問3 -2)

配慮がほしい項目については、どちらの地域でも「騒音」と「交通(道路をふさぐ等)」が一番と二番を占め、地域別の特徴は見られませんでした。

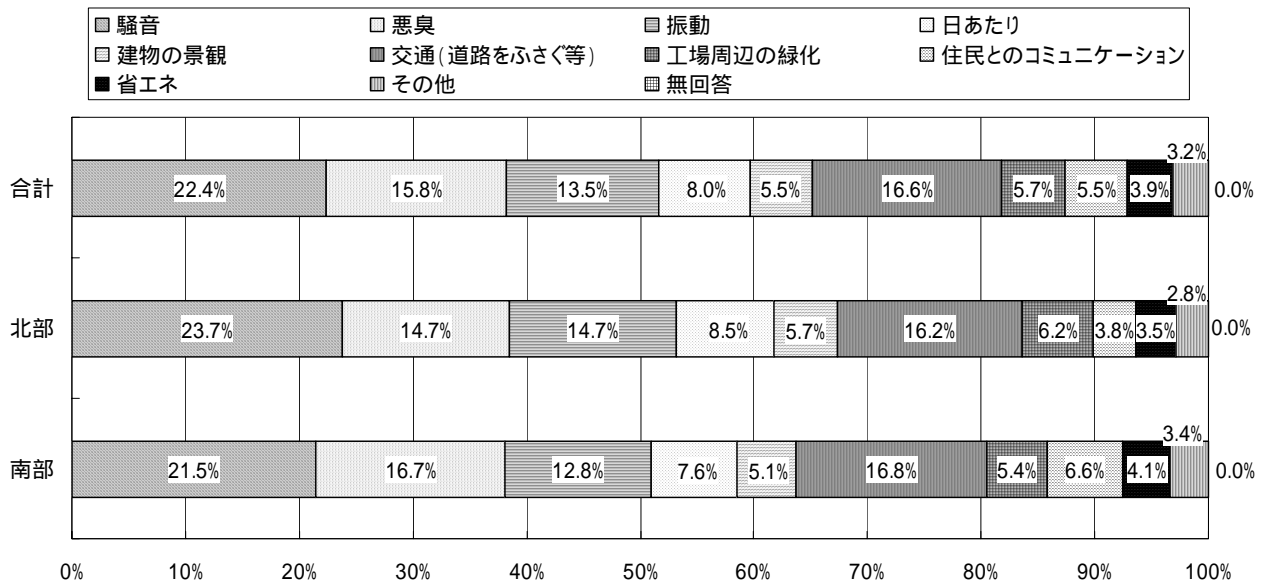


図3 - 27 配慮してほしい項目別回答者数(地域別)

工場があることの感想(問3)

周辺の工場については、「今のままでよい」と「工場が増えてもよい」の合計は、南部で北部より多いという傾向が見られました。

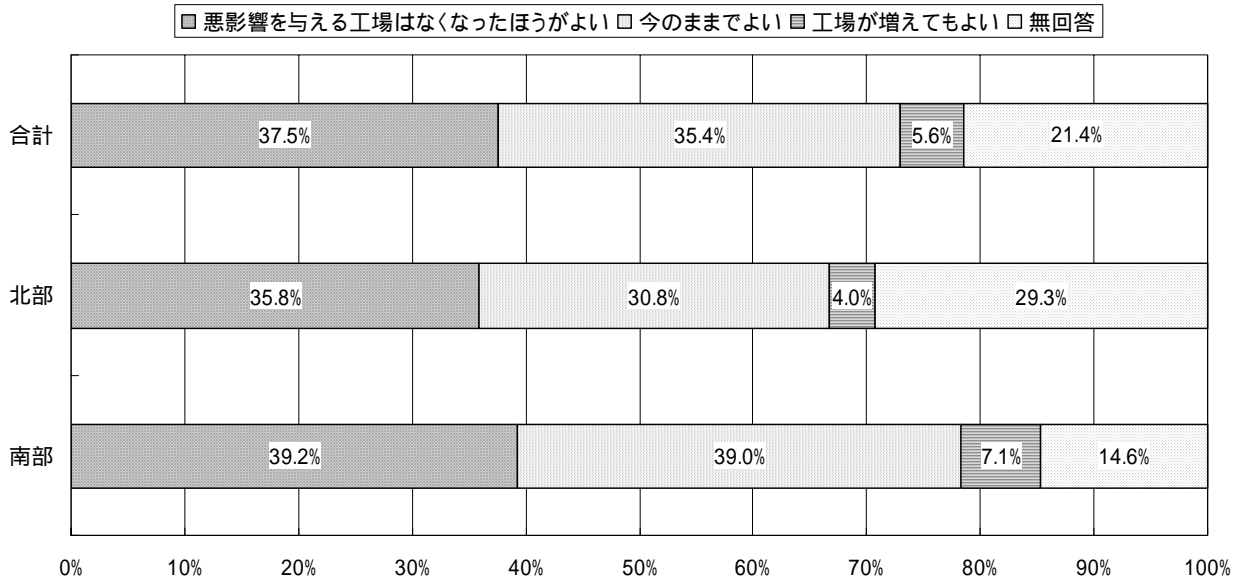


図3-28 工場があることの感想別回答者数(地域別)

工場があってもよい理由(問3)

「工場が今のままか増えてもよい」理由については、どちらの地域でも「市の発展に必要なだから」が最も多く、地域別の特徴は見られませんでした。

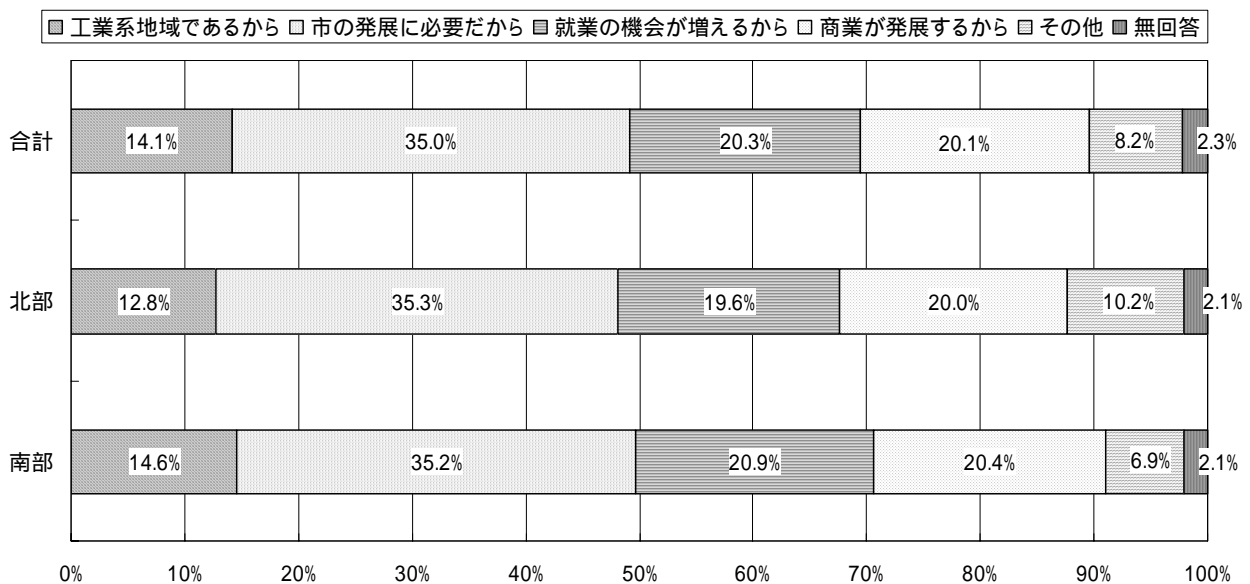


図3-29 工場があってもよい理由別回答者数(地域別)

3)クロス集計結果

(1)クロス集計について

転居予定の有無と住環境の向上について、主な項目別にクロス集計を行いました。

(2)転居希望者について

影響ある工場の有無別転居希望者

周辺に影響ある工場の有無別の転居予定については、「影響ある工場あり」の人が「転居予定あり」と回答する比率がやや高い傾向が見られました。

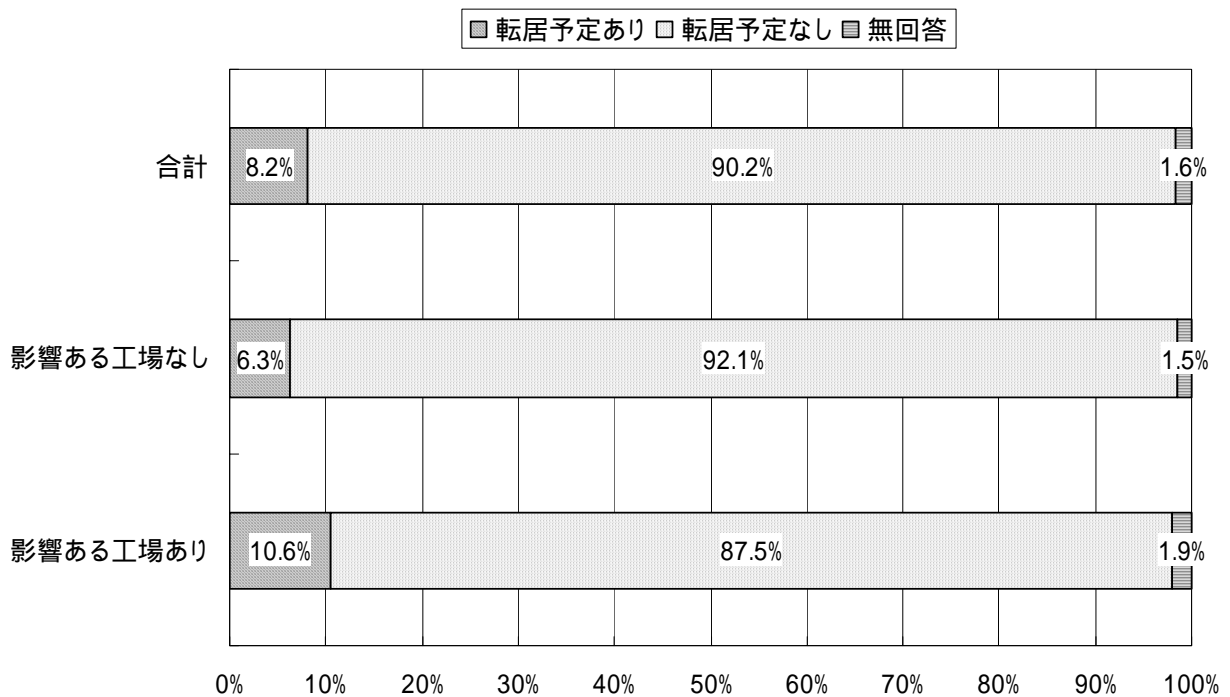


図3 - 30 影響ある工場の有無別転居希望者

(3) 住環境の向上項目について

居住年数別住環境の向上項目

居住年数別の住環境の向上項目については、5年未満(1年未満を含む)の人が「道路の拡幅など交通利便性の向上」と回答する比率がやや高い傾向が見られました。それ以外は、居住年数による顕著な傾向は見られませんでした。

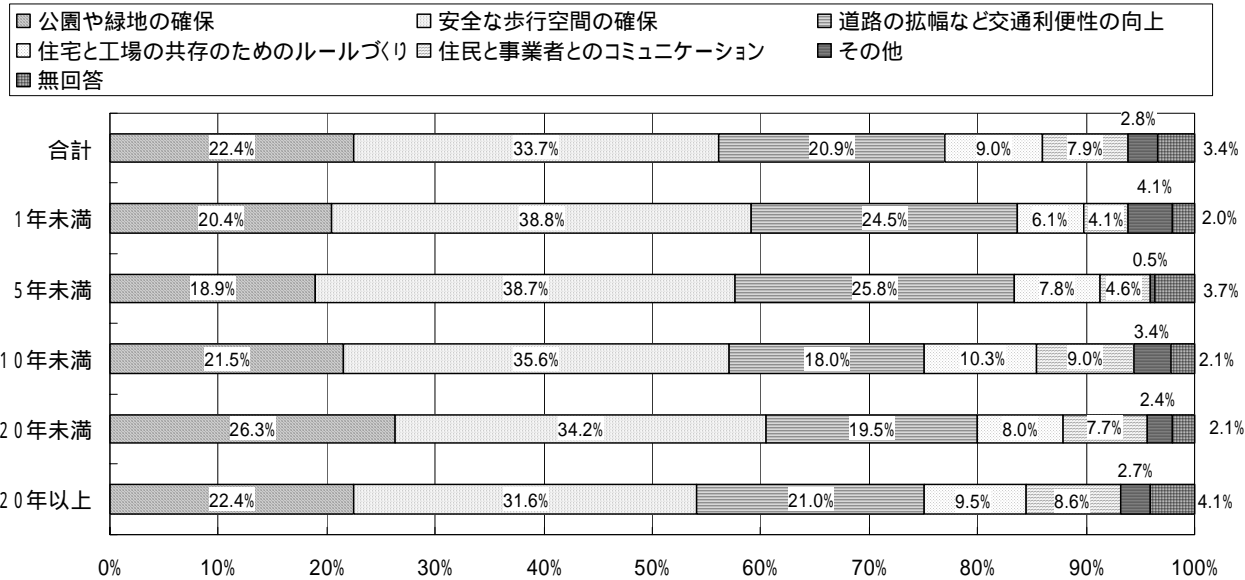


図3 - 31 居住年数別住環境の向上項目

影響ある工場の有無別住環境の向上項目

影響ある工場の有無別の住環境の向上項目については、「影響ある工場あり」の人が「住宅と工場の共存のためのルールづくり」と回答する比率が高い傾向が見られました。

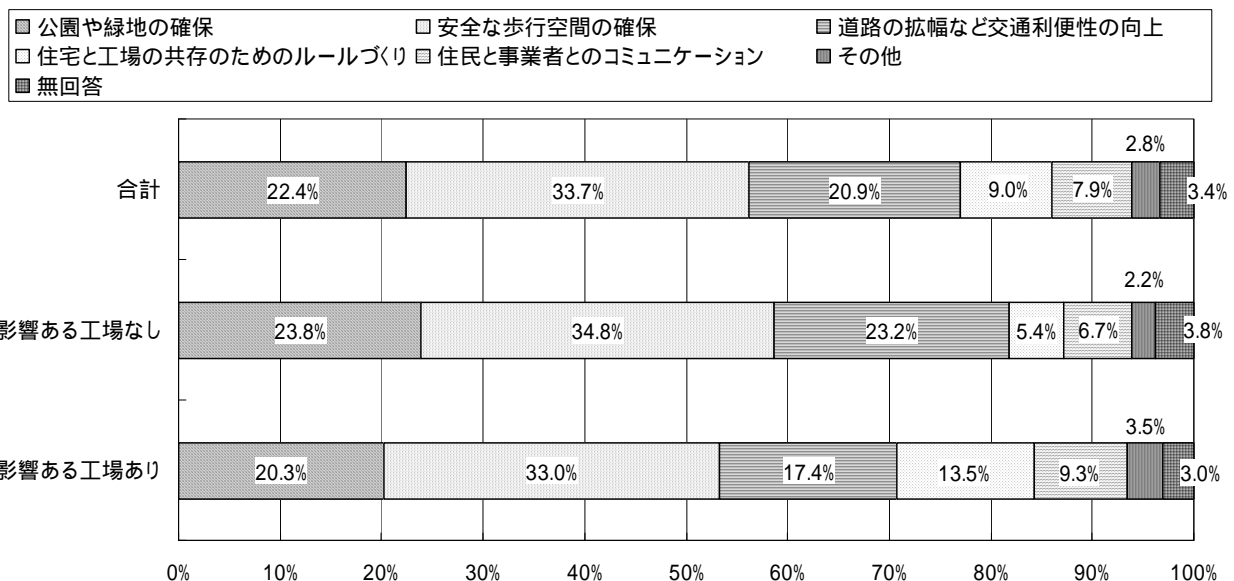


図3 - 32 影響ある工場の有無別住環境の向上項目

4. 今後の課題

工場事業者、住民アンケート結果から住環境の整備および産業の活性化についての課題を以下に整理します。

(1) 操業環境整備について

- ・ 工場を操業するにあたって、約8割の事業者は、周辺の住民に配慮していることがわかりました。また、約4割の住民が周辺に「住環境に影響を及ぼす工場がある」と回答しました。このことから工業地域でも住宅地化が進行している地域については、新たな土地利用方針の検討などが求められます。
- ・ 工場移転跡地の具体的な用途としては、「マンション」「倉庫」などがあり、高層の建物や住宅地への転換の可能性があります。このことから工場が多く立地し、将来においても工業用地を確保していく必要のある地域では、土地利用制限などの対策が求められます。
- ・ 工場の移転先として、「守口市」が半数以上を占めました。これは、住みなれた土地を離れたくない思いと、周辺の取引先との関係や交通に関する利便性が高いことが支持されており、今後も工業用地としての価値が高いためと考えられます。このことから新たに生じた遊休地については、工業用地として検討する等の対策が求められます。
- ・ 市内には土地や建物を借りている事業者が多く存在しています。工場を操業するにあたって問題となっている項目は、「地価や賃料が高い」とする回答が多く見られました。このことから集合型工場の整備を行う等、比較的安価な賃料で操業環境を確保できる方策等についての検討が求められます。

(2) 住環境整備について

- ・ 住民の約4割が周辺に「住環境に影響を及ぼす工場がある」と回答し、最も多い項目は「騒音」で、ついで「交通(道路をふさぐ等)」、「振動」でした。苦情を受けた事業者は、何らかの対応を行っており、最も多い対応策は、「騒音の減少」でした。このことから、住環境を守るため、また、工場の存続を図るために工場から発生する騒音や振動を軽減するための取り組みが求められます。
- ・ 4割弱の人が「悪影響を与える工場はなくなったほうがよい」と回答しており、住工混在の問題が存在しています。このことから、移転を希望する事業者について、市内の工場の集積地に移転を促す等の取り組みが求められます。
- ・ 工場周辺の住民にとって、住環境の維持・向上を図るための項目は、「安全な歩行空間の確保」と「道路の拡幅など、交通利便性の向上」など、道路に関するものが多いことがわかりました。これは、工場での物資の搬出入時に、道路を専用してしまうことなどの不満が多いためと見受けられます。このことから生活道路として安全で使いやすい道路整備の取り組みが求められます。
- ・ そのほか、住環境の維持・向上を図るための項目は、「公園や緑地の確保」があげられました。中小の工場では、植栽が少なく殺風景なところが多く見られます。このことから、生活に潤いを持たせるためにも、緑化を推進する取り組みが求められます。

(3) 住民と事業者の相互理解促進

- ・ 工場を操業するにあたって、多くの事業者が住民とのコミュニケーションについて配慮しており、工場周辺の住民も、「住宅と工場が共存していくためのルールづくり」を望んでいることがわかりました。その具体的な項目は、「就業時間」、「道路・交通」、「住民とのコミュニケーション」の回答が多く見られ、話し合いによるトラブルの解決を望んでいることがわかりました。このことより、多くの地区で住民と事業者が話し合いを促進する取り組みが重要と考えられます。
- ・ 工場周辺の住民にとって、「住民と事業者とのコミュニケーション」が必要と多くの人が考えていました。住民と事業者の相互理解を深めるためには、工場見学等のイベント開催等を促進する取り組みが必要と考えられます。

(4) 企業と住民が共生できる環境づくり

- ・ 回答者のご家族は、60～70代の方が最も多く、工場周辺地域でも高齢化が進んでいる状況がうかがえました。将来の担い手を確保は、重要な課題であり、生産年齢である若い世代の定住化の促進を図る取り組みが求められます。
- ・ 現在の住居に移転した理由で最も多いものは、「通勤通学が便利」、ついで「買い物等日常生活が便利」が多く、守口市民は生活の利便性が高いと考えていることがわかりました。また、市民の多くは、守口市において工場は、市の発展のために必要と考えていることもわかりました。生活の利便性と工場へ期待する市民の気持ちを活かし、第五次守口市総合基本計画において、主要な施策の一つとして位置づけられている「企業と住民が共生できる環境づくり」に向け、住環境整備や産業振興についての施策の取り組みが求められます。

【 発 行 】

守口市 市民生活部 産業労働課

〒570 - 8666

大阪府守口市京阪本通2丁目2番5号

電話 06 - 6992 - 1490(直通)